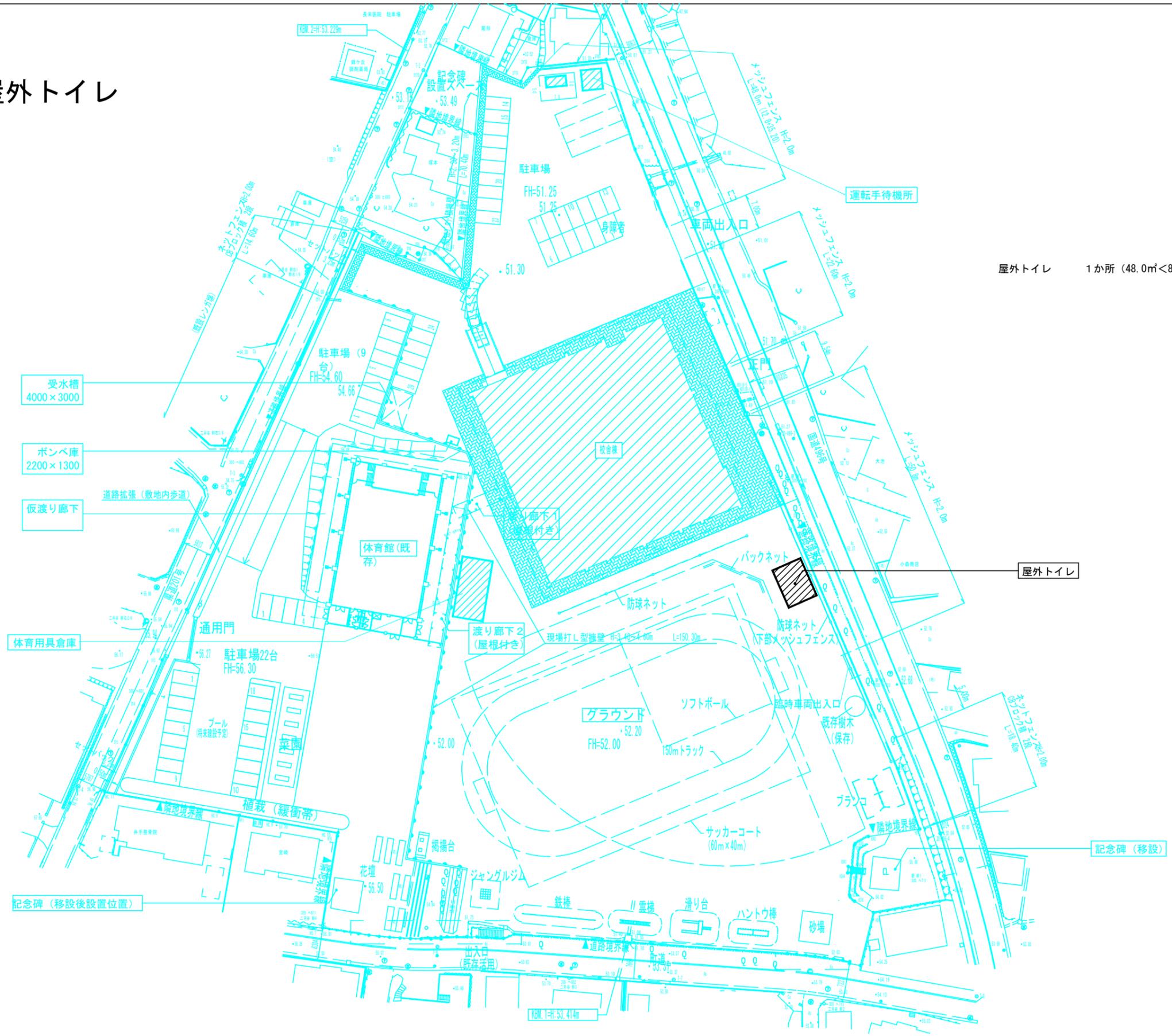


平面図 屋外トイレ



屋外トイレ 1か所 (48.0㎡<8.0×6.0>)

屋外トイレ

記念碑(移設)

配置図 S=1:800

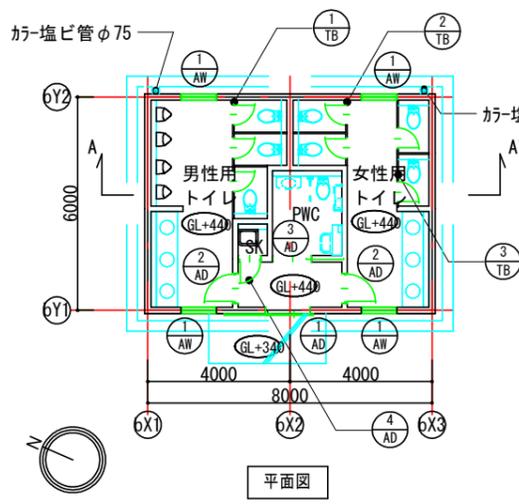
工事名称	豊津小学校屋外トイレ新設工事	図面番号		日付		調査部長		担当		製図
図名	位置図	縮尺	A1:1/400 A3:1/800							

建築工事特記仕様書		工事概要		工種		その他																																														
(1) 工事名称 豊津小学校屋外トイレ新設工事		(2) 発注者名 京都府みやこ町豊津		(3) 工事場所 福岡県京都府みやこ町豊津9番地1		(4) 工事種目 ・新築 ・増築 ・改築 ・その他																																														
(5) 工事期間 (6) ・部分使用 ・部分引渡		・あり ○なし		(7) 工事範囲 (工事種目)		豊津小学校屋外トイレ新設工事																																														
(8) 法的規制		a. 地域 地区：準都市計画区域内(用途指定なし) b. 防火地域：指定なし c. 容積率 % (基準200%) d. 延べ率 % (基準70%)		(9) 面積		<table border="1"> <tr> <th>棟名称</th> <th>湧り廊下</th> <th>体育用具倉庫</th> <th>屋外トイレ</th> <th>ごみ保管庫</th> <th>運転手待機所</th> </tr> <tr> <td>工事種別</td> <td>新築</td> <td>新築</td> <td>新築</td> <td>新築</td> <td>新築</td> </tr> <tr> <td>構造・階数</td> <td>S-1</td> <td>RC-1</td> <td>RC-1</td> <td>RC-1</td> <td>RC-1</td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>-</td> <td>97.0㎡</td> <td>48.0㎡</td> <td>19.0㎡</td> <td>48.0㎡</td> </tr> <tr> <td>延べ床面積</td> <td>-</td> <td>94.0㎡</td> <td>48.0㎡</td> <td>11.8㎡</td> <td>18.0㎡</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>棟名称</th> <th>ポンプ庫</th> <th>受水槽(ポンプ室)</th> </tr> <tr> <td>工事種別</td> <td>新築</td> <td>新築</td> </tr> <tr> <td>構造・階数</td> <td>既製品</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>7.0㎡</td> <td>8.0㎡</td> </tr> <tr> <td>延べ床面積</td> <td>2.8㎡</td> <td>8.0㎡</td> </tr> </table>		棟名称	湧り廊下	体育用具倉庫	屋外トイレ	ごみ保管庫	運転手待機所	工事種別	新築	新築	新築	新築	新築	構造・階数	S-1	RC-1	RC-1	RC-1	RC-1	建築面積	-	97.0㎡	48.0㎡	19.0㎡	48.0㎡	延べ床面積	-	94.0㎡	48.0㎡	11.8㎡	18.0㎡	棟名称	ポンプ庫	受水槽(ポンプ室)	工事種別	新築	新築	構造・階数	既製品		建築面積	7.0㎡	8.0㎡	延べ床面積	2.8㎡	8.0㎡
棟名称	湧り廊下	体育用具倉庫	屋外トイレ	ごみ保管庫	運転手待機所																																															
工事種別	新築	新築	新築	新築	新築																																															
構造・階数	S-1	RC-1	RC-1	RC-1	RC-1																																															
建築面積	-	97.0㎡	48.0㎡	19.0㎡	48.0㎡																																															
延べ床面積	-	94.0㎡	48.0㎡	11.8㎡	18.0㎡																																															
棟名称	ポンプ庫	受水槽(ポンプ室)																																																		
工事種別	新築	新築																																																		
構造・階数	既製品																																																			
建築面積	7.0㎡	8.0㎡																																																		
延べ床面積	2.8㎡	8.0㎡																																																		
一般特記事項		特記仕様書の適用		工事の記録		1.4.7 支給材料 貸与品																																														
特記仕様書の適用		1. この工事の請負者は、現場説明書、特記仕様書、図面、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)、建築工事監理指針(平成28年版)工事写真の撮り方(改定第3版)に基づき、工事を施工する。 2. 特記仕様書の適用方法 (1) ・印で始まる事項及び表中の・印の事項は、・印の付した事項を適用する。ただし、○印のない場合は、*印の付したものを適用する。また、○印と*印の両方が付いた場合は、両方とも適用する。 (2) 破線で抹消した章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。 (3) 表中の数字、文字又は記号を記入した事項は、記入してある事項のみ適用する。 (4) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取り扱いは、特記されたもの又は同等品以上のものとする。ただし、同等品以上のものをとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 (5) 特記仕様書のうち、構造関連の3章から7章については、別紙の構造設計仕様による。 3. 下記の詳細図、仕様書を用いる。 ○建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修(平成28年版) ・擁壁設計標準図 建設大臣官庁官庁営繕部監修(平成12年版) ○道建築工事標準仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修(平成22年版) ・公共建築改修工事標準仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修(平成22年版)		1. 検査、試験または設計図書に定められた確認などを行った場合は、終了後速やかに記録を作成し、監理者に提出する。 2. 立会による監理者の検査、または施工・試験などへの監理者の立会を受けた場合は、終了後速やかに記録を作成して監理者に提出する。		1.3.3 電気保安技術者 ○適用する ・適用しない 2. 電気主任技術者 ○選任しない ・請負者が工事中の必要な時期に選任する。		1.4.7 支給材料 貸与品 ④ なし ・あり()																																												
1章 一般共通事項		1.3.10 施工中の環境保全等		1.3.11 発生材の処理等		1.5.2 技能士																																														
適用範囲		1. 共仕は、建築物に新築及び増築にかかわる建築工事に適用する。 2. 設計図書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、請負者の責任において履行すべきものとする。 3. 契約図書は、次のとおりとし、相互に補完するものとする。ただし、契約図書に相違がある場合の優先順位は、次の(1)から(6)の順番のとおりとし、これによりがたい場合は共仕(1.1.1)による。 (1) 工事請負契約書 (2) 質問回答書・追加変更指示書 (3) 現場説明書 (4) 特記仕様書 (5) 設計図 (6) 標準仕様書		1.3.10 施工中の環境保全等 低騒音型・低振動型・建設機械の使用 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正 平成13年4月9日 国土交通省告示第407号)に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。低騒音型建設機械を使用する場合は、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。		1.3.11 発生材の処理等 1. 引渡を要するもの *なし ・あり() 2. 特別管理産業廃棄物 *なし ・あり() 3. 汚染土壌 *なし ・あり() ・請負者が土壌調査を行う() 4. 再利用を図る発生材 *建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律による特定建設資材廃棄物 ・ 5. 再資源化を図る発生材 *建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律による特定建設資材廃棄物 ・		1.5.2 技能士 1. 技能士の適用は次による。 適用工事種別 技能検定の職種 鉄筋工事 ○鉄筋施工 コンクリート工事 ○左官 ・型枠施工 鉄骨工事 ・とび ブロック・ALCパネル工事 ・ブロック建設・ALCパネル施工 PCカーテンウォール工事 ・カーテンウォール施工 防水工事 ○防水施工 石工事 ・石材施工 タイル工事 ○タイル張り 木工事 ○建築大工 屋根・とい工事 ○建築板金 ・スレート施工 金属工事 ○内装仕上げ施工(鋼製下地) 左官工事 ○左官 建具工事 ○サッシ施工 ○ガラス施工 塗装工事 ○塗装 内装工事 ○内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等) ・表装 植栽工事 ○造園																																												
官公庁その他への提出手続等		1. 建築基準法87条の2による昇降機設備の確認申請は、次による。 ○昇降機設備工事専門工業者が建築主の代理人として行い、申請及びこれにかかわる検査に要する費用は、請負者の負担とする。		1.5.9 化学物質の濃度測定		1.5.9 化学物質の濃度測定 1. 室内空気質対応に関連する法令・基準の適用 ④ 建築基準法 ・住宅の品質確保の促進等に関する法律(住宅品質確保) ○学校環境衛生の基準 2. ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行う。 測定の時期は 工事の施工完了後、引き渡しをするまでの間に、下表の測定室等の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、指針値以下であることを確認し、報告する。 測定室等 測定物質 測定箇所 ④ホルムアルデヒド 体育用具倉庫 1箇所 ④トルエン 屋外トイレ 1箇所 ④キシレン ごみ保管庫 1箇所 ④エチルベンゼン 運転手待機所 1箇所 ④スチレン ④パラジクロロベンゼン																																														
排出ガス対策型建設機械		1. 本工事を完成させるために本工事に付帯して当然必要な軽微な工事・作業・材料などは、設計図書に記載がない場合でも本工事に含む。 2. 本工事を完成させるために必要な工事及び費用は、請負代金額に含まれる。 (1) 施工・材料及び製品の検査・試験、見本などの作製、検査に要する費用。 (2) 敷地周辺における本工事の障害となるものの移設と復旧 (3) 工事期間中の官公庁その他関係機関の手続及びその費用 (4) 工事用機器、材料などの取入れに必要な搬入出口及び通路の設置とそれに伴う補造、復旧・後片付け		1. 機器・材料・施工・工事についての施工図等・見本などに対する監理者の承認は、次による。 (1) 監理者の承認は、請負者による品質管理・確認の適正さを確認するために行うものである。 (2) 監理者の承認は、請負者から提出された施工図等・見本に示される範囲の内容に対してなされる。 (3) 施工に用いられた、または工事的物に組み込まれた製品についての施工図等・見本などに対する監理者の承認は、その外観や請負者から提出される情報に基づいてなされる。 2. 機器・材料・施工・工事に対する監理者の検査または試験は、次のよう。 (1) 監理者の検査または試験は、工事請負契約及び設計図書に基づいて、請負者等による品質管理・確認・自主検査の適正さを確認するために行うものである。 (2) 監理者の検査は、立会により、または請負者等の自主検査記録・工事写真その他の審査などの合理的な方法により行う。 (3) 施工に用いられた、または工事的物に組み込まれた製品に対する監理者の検査または試験は、その外観や請負者等から提出される情報・各種記録に基づいてなされる。 (4) 前(1)・(2)にかかわらず、機器・材料・施工・工事が工事請負契約・設計図書の適合しない場合は、その修繕などの責は請負者にある。 (5) 前(1)・(2)にかかわらず、施工に用いられた、または工事的物に組み込まれた製品の欠陥、若しくはこれに類する原因による品質上・性能上・安全上の不具合がある場合は、その修繕などの責は請負者にある。		排出ガス対策型建設機械 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する機械。または「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成28年10月8日付け経機発第249号 最終改正平成14年4月1日付け国総機第225号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総機第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型機械と同等と見なす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出する。		4. ホルムアルデヒド、VOCなどの室内濃度測定の結果、建築物の要求品質をクリアできていない物質がある場合は、発注者及び監理者と協議の上、指針値クリアを達成するまで24時間換気運転をする。またホルムアルデヒド、VOCなどを吸着または除去する材料を用いるなどの方法により、適切な改善措置を講じる。 5. 室内における配管類、盤、機器類などの塗料及び接着剤は、露出・隠蔽部分ともにホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼンを含まないものとする。 また、接着剤に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルなどを含有しない難揮発性のものとする。やむおえずこれらを含むものを使用する場合は、その使用量が最小限に抑えられたものとし、十分に枯らし期間を設け、換気するなど措置をとる。																																												
種類		備考		1.7.1 完成時の提出図書		1. 工事完成時の提出図書 ④完成図 ④安全に関する資料 ④竣工写真 ④主要な施工図																																														
バックホウ トラクタショベル(車輪式) ブルドーザ 発動電動機(可搬入・溶接兼用機を含む) 空気圧縮機(可搬入) 油圧ユニット(基礎工事用機械で独立したもの) ローラー(ロードローラー、タイヤローラー、籠車ローラー) ホイールクレーン		ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上、260kW以下)を搭載したものに限る。		1.7.2 完成図書等		1. 完成図の様式・サイズ・体裁・提出部数は次による。 種類 サイズ 体積 提出部数 備考 原因 A1版 1 トラレーシングペーパー 陽面焼付け A1版 2つ折製本 1 黒表紙銀文字製本 陽面焼付け A3版(縮小) 2つ折製本 1 黒表紙銀文字製本 電子媒体(CADデータ) 1 ファイル形式と作成要領は監理者の指示による 2. 実際の施工に使用した仕上材料の製造者、品名、品番、色番などのデータは完成図仕上の備考欄に記載する。 3. 竣工写真の提出は次による。 種類 提出部数 提出カット数 備考 *カラープリント 提出書類作成要領による 外観-40箇所、内部-50箇所 サイズ六つ切 *デジタル画像データ カラープリントと同じ カラープリントと同じ 4. 竣工写真の撮影者は建築写真専門家とする。																																														
1.4.7 支給材料 貸与品		1. 支給材料、貸与品 ④ なし ・あり()		2章 仮設工事		監理者事務所 備品(FAX・PCなどOA機器を含む)については監理者の指示による。																																														
1.5.2 技能士		1. 技能士の適用は次による。 適用工事種別 技能検定の職種 鉄筋工事 ○鉄筋施工 コンクリート工事 ○左官 ・型枠施工 鉄骨工事 ・とび ブロック・ALCパネル工事 ・ブロック建設・ALCパネル施工 PCカーテンウォール工事 ・カーテンウォール施工 防水工事 ○防水施工 石工事 ・石材施工 タイル工事 ○タイル張り 木工事 ○建築大工 屋根・とい工事 ○建築板金 ・スレート施工 金属工事 ○内装仕上げ施工(鋼製下地) 左官工事 ○左官 建具工事 ○サッシ施工 ○ガラス施工 塗装工事 ○塗装 内装工事 ○内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等) ・表装 植栽工事 ○造園		工事用水及び工事用電力 仮設計図書 危険防止 工事表示板等 工事車両の出入口 工事用道路		1. 工用水 構内既存の施設 ・利用できる(※有償・無償) ※利用できない 2. 工用水 構内既存の施設 ・利用できる(※有償・無償) ※利用できない ※要する ・要しない 仮囲い等 ・設けない ※設ける 設置方法 *設計図書による ※設ける ・設けない 位置は監督職員の指示による。 工事用車両の出入口では、一般歩行者及び一般車両の安全確保に努めること。 交通誘導員 ※配置する ・配置しない ○設けない ※設ける 設置方法 *設計図書による																																														
1.5.9 化学物質の濃度測定		1. 室内空気質対応に関連する法令・基準の適用 ④ 建築基準法 ・住宅の品質確保の促進等に関する法律(住宅品質確保) ○学校環境衛生の基準 2. ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行う。 測定の時期は 工事の施工完了後、引き渡しをするまでの間に、下表の測定室等の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、指針値以下であることを確認し、報告する。 測定室等 測定物質 測定箇所 ④ホルムアルデヒド 体育用具倉庫 1箇所 ④トルエン 屋外トイレ 1箇所 ④キシレン ごみ保管庫 1箇所 ④エチルベンゼン 運転手待機所 1箇所 ④スチレン ④パラジクロロベンゼン		3.2.3 埋戻し及び盛土 3.2.5 建設発生土の処理		3章 土工事 種別 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種																																														
官公庁その他への提出手続等		1. 建築基準法87条の2による昇降機設備の確認申請は、次による。 ○昇降機設備工事専門工業者が建築主の代理人として行い、申請及びこれにかかわる検査に要する費用は、請負者の負担とする。		1.5.9 化学物質の濃度測定		4章 地業工事 下記以外(特-06)図による 4.6.2 材料 ○再生クラッシュラン ・切込砂利及び切込砕石																																														
官公庁その他への提出手続等		1. 建築基準法87条の2による昇降機設備の確認申請は、次による。 ○昇降機設備工事専門工業者が建築主の代理人として行い、申請及びこれにかかわる検査に要する費用は、請負者の負担とする。		1.5.9 化学物質の濃度測定		5章 鉄筋工事 下記以外(特-06)図による 5.3.4 継手及び定着 継手方法等 部位 継手方法 径(mm) 柱、梁の主筋 ○ガス圧接 ・機械式継手 D16以上 その他 ○重ね継手 D13以下																																														
官公庁その他への提出手続等		1. 建築基準法87条の2による昇降機設備の確認申請は、次による。 ○昇降機設備工事専門工業者が建築主の代理人として行い、申請及びこれにかかわる検査に要する費用は、請負者の負担とする。		1.5.9 化学物質の濃度測定		5.4.9 圧接完了後の試験 ○超音波探傷試験 ・引張試験																																														

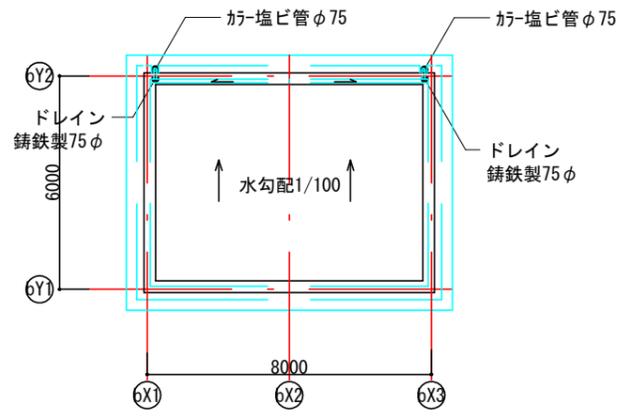
6章 コンクリート工事				10章 石工事				13章 屋根及びとい				15章 左官工事																																																																																																																
6.8.2 一般事項	<p>下記以外(特-06)図による</p> <p>○型枠下部には清掃口を設け、コンクリート打設前に内部の釘や金物等を取り除き、木脚は水で洗い流すこと。</p> <p>○コンクリート打設前及び配筋検査後に、必ず型枠工・鉄筋工立会いでかぶり厚の再確認を行うこと。</p> <p>○柱や壁の足元部打設時は、当該型枠部分を木棍等で叩きコンクリートの充填を促すこと。</p> <p>○型枠の足元部分には、建込み前に適当な穴を開けておき、コンクリートの充填を確認すること。</p>			<p>10.1.3 施工一般</p> <p>1.仕上がり精度 1) 仕上り面の凹凸・高低の仕上がり精度は、壁にあっては3mlにつき±1.5mm以内、床にあっては3mlにつき±3mm以内とする。 2) 台端は糸面取り、出隅部は丸面取りまたは角面取りの仕上げとする。</p> <p>2.目地 1) 一般目地(数訂工法は除く) イ.設計図に記載なき目地幅は次による。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">石種</th> <th rowspan="2">仕上げ</th> <th colspan="2">壁用</th> <th colspan="2">床用</th> </tr> <tr> <th>外部(mm)</th> <th>内部(mm)</th> <th>外部(mm)</th> <th>内部(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">花崗岩</td> <td>磨き</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ジェットパーナー</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>叩き</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>ロ.ねむり目地は目地幅0.5mm程度とし、石小口にはテープ(塩化ビニルなど)を張り、石の伸縮などによる破壊を防止する。 ハ.目地は空隙がないように十分充填し、1~2mmの沈み目地とする。 ニ.化粧目地に普通セメントまたは白セメントを使用する場合は、色合により寒水砂または洗い細砂を使用する。</p> <p>2) 伸縮調整目地 イ.コンクリートのひび割れ誘発目地及び入隅部・異種下地と接する部分・サッシなどの取り合い部には、伸縮調整目地(シーリング材充填)を設ける。</p>			石種	仕上げ	壁用		床用		外部(mm)	内部(mm)	外部(mm)	内部(mm)	花崗岩	磨き	6	6	6	4	ジェットパーナー	8	6	6	4	叩き	8	6	6	4	<p>10.2.1 石材</p> <p>1.天然石の品質 1) 床用石材 *1等品 *2等品 2) 内装及びその他の石材 *1等品 *2等品</p> <p>2.石材の種類と、施工箇所、形状、寸法、表面仕上げは次による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状・寸法</th> <th>種類(産地、名称)</th> <th>表面仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>内部 上框</td> <td>W50 厚さ30mm</td> <td>花崗岩(御影)</td> <td>本磨</td> </tr> <tr> <td>内部 幅木</td> <td>H75 厚さ20mm</td> <td>花崗岩(御影)</td> <td>本磨</td> </tr> </table>			施工箇所	形状・寸法	種類(産地、名称)	表面仕上げの種類	内部 上框	W50 厚さ30mm	花崗岩(御影)	本磨	内部 幅木	H75 厚さ20mm	花崗岩(御影)	本磨	<p>13.2.2 長尺金属板葺の材質</p> <p>13.2.3 工法</p> <p>化粧鋼板屋根は次による。 1) 材質 塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板(屋根用) 2) 板厚 0.4mm 3) 色 遮熱カラー 4) 性能 心木無し瓦葺置き 5) 製造所(製品名) 三晃金属工業(株)(A号瓦葺葺)同等品以上</p>			<p>14.2.3 鉄鋼の亜鉛めっき</p> <p>1. 鉄鋼の亜鉛めっきの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>○A種</td> <td>外部 図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table> <p>2. 外気に接するボルト・ナットは溶融亜鉛めっきまたはステンレス製とする。 3. 溶融亜鉛めっき鋼材の加工後の切断、穴あけは行わない。方が一、あと加工が必要な場合は、監理者の指示による。</p>			表面処理方法	種別	施工箇所	溶融亜鉛めっき	○A種	外部 図示による	・B種		・C種		電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種																																																							
	石種	仕上げ	壁用		床用																																																																																																																							
外部(mm)			内部(mm)	外部(mm)	内部(mm)																																																																																																																							
花崗岩	磨き	6	6	6	4																																																																																																																							
	ジェットパーナー	8	6	6	4																																																																																																																							
	叩き	8	6	6	4																																																																																																																							
施工箇所	形状・寸法	種類(産地、名称)	表面仕上げの種類																																																																																																																									
内部 上框	W50 厚さ30mm	花崗岩(御影)	本磨																																																																																																																									
内部 幅木	H75 厚さ20mm	花崗岩(御影)	本磨																																																																																																																									
表面処理方法	種別	施工箇所																																																																																																																										
溶融亜鉛めっき	○A種	外部 図示による																																																																																																																										
	・B種																																																																																																																											
	・C種																																																																																																																											
電気亜鉛めっき	・D種																																																																																																																											
	・E種																																																																																																																											
	・F種																																																																																																																											
7章 鉄骨工事				11章 タイル工事				14章 金属工事																																																																																																																				
<p>○構造図による</p>				<p>11.2.1 11.3.3 タイル 施工</p> <p>1.タイルの形状、寸法、きじの質及び工法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状・寸法</th> <th>表面仕上</th> <th>色調・メーカー</th> </tr> <tr> <td>トイレ床</td> <td>磁器質300角</td> <td>ノンスリップ</td> <td>アベニュー(名古屋モザイク株) ドルメン(Kyタイル株) 同等品以上</td> </tr> <tr> <td>トイレ壁</td> <td>吸湿タイル(せっ器質) 300×150角</td> <td></td> <td>エコカラット(LIXIL株) 同等品以上</td> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>磁器質50角</td> <td>フラット</td> <td>N MOSAIC (Kyタイル株)同等品以上</td> </tr> </table> <p>外壁タイル張り工法 ・弾性有機系接着剤張り 外壁タイル張り下地コンクリート面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄)</p>				施工箇所	形状・寸法	表面仕上	色調・メーカー	トイレ床	磁器質300角	ノンスリップ	アベニュー(名古屋モザイク株) ドルメン(Kyタイル株) 同等品以上	トイレ壁	吸湿タイル(せっ器質) 300×150角		エコカラット(LIXIL株) 同等品以上	外壁	磁器質50角	フラット	N MOSAIC (Kyタイル株)同等品以上	<p>14.2.1 ステンレスの表面仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・HL程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○No.2B程度</td> <td>図示箇所</td> </tr> <tr> <td>・鏡面</td> <td></td> </tr> </table> <p>14.2.2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>色調など</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・A-1種(無着色)</td> <td>・AA15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A-2種(着色)</td> <td>・AA15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○B-1種(無着色)</td> <td>○B8</td> <td>*シルバー</td> <td></td> <td>塗膜 *つや消し 皮膜 *マット処理</td> </tr> <tr> <td>・B-2種(着色)</td> <td>・B8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-1種(無着色)</td> <td>・AA6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-2種(着色)</td> <td>・AA6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・着色塗装</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				種類	施工箇所	・HL程度		○No.2B程度	図示箇所	・鏡面		種類	種類	色調など	施工箇所	備考	・A-1種(無着色)	・AA15				・A-2種(着色)	・AA15				○B-1種(無着色)	○B8	*シルバー		塗膜 *つや消し 皮膜 *マット処理	・B-2種(着色)	・B8				・C-1種(無着色)	・AA6				・C-2種(着色)	・AA6				・D種					・着色塗装																																																
施工箇所	形状・寸法	表面仕上	色調・メーカー																																																																																																																									
トイレ床	磁器質300角	ノンスリップ	アベニュー(名古屋モザイク株) ドルメン(Kyタイル株) 同等品以上																																																																																																																									
トイレ壁	吸湿タイル(せっ器質) 300×150角		エコカラット(LIXIL株) 同等品以上																																																																																																																									
外壁	磁器質50角	フラット	N MOSAIC (Kyタイル株)同等品以上																																																																																																																									
種類	施工箇所																																																																																																																											
・HL程度																																																																																																																												
○No.2B程度	図示箇所																																																																																																																											
・鏡面																																																																																																																												
種類	種類	色調など	施工箇所	備考																																																																																																																								
・A-1種(無着色)	・AA15																																																																																																																											
・A-2種(着色)	・AA15																																																																																																																											
○B-1種(無着色)	○B8	*シルバー		塗膜 *つや消し 皮膜 *マット処理																																																																																																																								
・B-2種(着色)	・B8																																																																																																																											
・C-1種(無着色)	・AA6																																																																																																																											
・C-2種(着色)	・AA6																																																																																																																											
・D種																																																																																																																												
・着色塗装																																																																																																																												
8章 コンクリートブロック・ロック・丸いパネル・押出成形セメント板工事				12章 木工事				15章 左官工事																																																																																																																				
<p>(8.2.2) 材料</p> <p>コンクリートブロック</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>取付け工法種別</th> </tr> <tr> <td>外壁パネル</td> <td>フラットパネル デザインパネル(リブ付) タイルベースパネル</td> <td>・50・60 ・50・60 ・60</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>間仕切壁パネル</td> <td>フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル</td> <td>・50・60 ・50・60 ・60</td> <td>・B種 ・C種</td> </tr> </table> <p>(8.5.2) 材料</p> <p>押出成形セメント板</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>取付け工法種別</th> </tr> <tr> <td>外壁パネル</td> <td>フラットパネル デザインパネル(リブ付) タイルベースパネル</td> <td>・50・60 ・50・60 ・60</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>間仕切壁パネル</td> <td>フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル</td> <td>・50・60 ・50・60 ・60</td> <td>・B種 ・C種</td> </tr> </table> <p>塗装の種類・・・無塗装品</p>				種類	表面形状	厚さ(mm)	取付け工法種別	外壁パネル	フラットパネル デザインパネル(リブ付) タイルベースパネル	・50・60 ・50・60 ・60	・A種 ・B種	間仕切壁パネル	フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル	・50・60 ・50・60 ・60	・B種 ・C種	種類	表面形状	厚さ(mm)	取付け工法種別	外壁パネル	フラットパネル デザインパネル(リブ付) タイルベースパネル	・50・60 ・50・60 ・60	・A種 ・B種	間仕切壁パネル	フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル	・50・60 ・50・60 ・60	・B種 ・C種	<p>9.7.2 材料</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 ○非着体に応じたものとし、(表9.7.1)を標準とする。</p>				<p>(15.5.2) 材料</p> <p>仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・複層仕上塗材(F.T)</td> <td>・防水形複層塗材C ・防水型塊層塗材E ・防水形複層塗材S ・防水形複層塗材R</td> <td>・砂ず肌状 ・凸状 ・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> <td>上塗材種類 ・水系アクリルのつやあり ・弾性水系7ケルシリコン仕上(超低汚染型)</td> </tr> </table> <p>その他</p> <p>撥水材吹付 材料~シラン系クリア 製造所(製品名) 菊水化学工業(株)(シランコートHS)同等品以上</p>				種類	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層仕上塗材(F.T)	・防水形複層塗材C ・防水型塊層塗材E ・防水形複層塗材S ・防水形複層塗材R	・砂ず肌状 ・凸状 ・凹凸状	・吹付け	上塗材種類 ・水系アクリルのつやあり ・弾性水系7ケルシリコン仕上(超低汚染型)																																																																															
種類	表面形状	厚さ(mm)	取付け工法種別																																																																																																																									
外壁パネル	フラットパネル デザインパネル(リブ付) タイルベースパネル	・50・60 ・50・60 ・60	・A種 ・B種																																																																																																																									
間仕切壁パネル	フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル	・50・60 ・50・60 ・60	・B種 ・C種																																																																																																																									
種類	表面形状	厚さ(mm)	取付け工法種別																																																																																																																									
外壁パネル	フラットパネル デザインパネル(リブ付) タイルベースパネル	・50・60 ・50・60 ・60	・A種 ・B種																																																																																																																									
間仕切壁パネル	フラットパネル デザインパネル(図示) タイルベースパネル	・50・60 ・50・60 ・60	・B種 ・C種																																																																																																																									
種類	呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																								
・複層仕上塗材(F.T)	・防水形複層塗材C ・防水型塊層塗材E ・防水形複層塗材S ・防水形複層塗材R	・砂ず肌状 ・凸状 ・凹凸状	・吹付け	上塗材種類 ・水系アクリルのつやあり ・弾性水系7ケルシリコン仕上(超低汚染型)																																																																																																																								
9章 防水工事				14章 金属工事				15章 左官工事																																																																																																																				
<p>9.5.3 防水層の種類及び工程</p> <p>塗膜防水の防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>仕上</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>ウレタンゴム系塗膜防水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・X-1</td> <td>*標準色(・シルバー*カラー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td>*標準色(・シルバー*カラー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゴムアスファルト系塗膜防水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-1</td> <td>*標準色(・シルバー*カラー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-2</td> <td>*標準色(・シルバー*カラー)</td> <td></td> </tr> </table>				種別	仕上	施工箇所	ウレタンゴム系塗膜防水			・X-1	*標準色(・シルバー*カラー)		・X-2	*標準色(・シルバー*カラー)		ゴムアスファルト系塗膜防水			・Y-1	*標準色(・シルバー*カラー)		・Y-2	*標準色(・シルバー*カラー)		<p>14.8.2 14.8.3 手すり タラップ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>表面処理の種別</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">手すり</td> <td>・ステンレス製 SUS304</td> <td>・HL程度 ・NO.2B程度</td> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>外部 内部 電気亜鉛めっき(C種) 電気亜鉛めっき(E種)</td> </tr> <tr> <td>タラップ</td> <td>○ステンレス製 SUS304 ・鋼製</td> <td>・研磨なし ・HL</td> </tr> </table> <p>金網類</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>線形(mm)</th> <th>網目(mm)</th> <th>適用</th> </tr> <tr> <td>・ひし型金網</td> <td>2.5</td> <td>0.625</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・クリンプ金網</td> <td>2.5</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス平織金網</td> <td>0.5</td> <td>2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>3.2</td> <td>50×50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○溶接金網</td> <td>6.0</td> <td>150×150</td> <td></td> </tr> </table>				種類	種別	表面処理の種別	手すり	・ステンレス製 SUS304	・HL程度 ・NO.2B程度	・鋼製	外部 内部 電気亜鉛めっき(C種) 電気亜鉛めっき(E種)	タラップ	○ステンレス製 SUS304 ・鋼製	・研磨なし ・HL	種別	線形(mm)	網目(mm)	適用	・ひし型金網	2.5	0.625		・クリンプ金網	2.5	1.0		・ステンレス平織金網	0.5	2.5		・溶接金網	3.2	50×50		○溶接金網	6.0	150×150		<p>9.7.2 材料</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 ○非着体に応じたものとし、(表9.7.1)を標準とする。</p>				<p>14.2.1 ステンレスの表面仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・HL程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○No.2B程度</td> <td>図示箇所</td> </tr> <tr> <td>・鏡面</td> <td></td> </tr> </table> <p>14.2.2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>色調など</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・A-1種(無着色)</td> <td>・AA15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A-2種(着色)</td> <td>・AA15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○B-1種(無着色)</td> <td>○B8</td> <td>*シルバー</td> <td></td> <td>塗膜 *つや消し 皮膜 *マット処理</td> </tr> <tr> <td>・B-2種(着色)</td> <td>・B8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-1種(無着色)</td> <td>・AA6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-2種(着色)</td> <td>・AA6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・着色塗装</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				種類	施工箇所	・HL程度		○No.2B程度	図示箇所	・鏡面		種類	種類	色調など	施工箇所	備考	・A-1種(無着色)	・AA15				・A-2種(着色)	・AA15				○B-1種(無着色)	○B8	*シルバー		塗膜 *つや消し 皮膜 *マット処理	・B-2種(着色)	・B8				・C-1種(無着色)	・AA6				・C-2種(着色)	・AA6				・D種					・着色塗装				
種別	仕上	施工箇所																																																																																																																										
ウレタンゴム系塗膜防水																																																																																																																												
・X-1	*標準色(・シルバー*カラー)																																																																																																																											
・X-2	*標準色(・シルバー*カラー)																																																																																																																											
ゴムアスファルト系塗膜防水																																																																																																																												
・Y-1	*標準色(・シルバー*カラー)																																																																																																																											
・Y-2	*標準色(・シルバー*カラー)																																																																																																																											
種類	種別	表面処理の種別																																																																																																																										
手すり	・ステンレス製 SUS304	・HL程度 ・NO.2B程度																																																																																																																										
	・鋼製	外部 内部 電気亜鉛めっき(C種) 電気亜鉛めっき(E種)																																																																																																																										
タラップ	○ステンレス製 SUS304 ・鋼製	・研磨なし ・HL																																																																																																																										
種別	線形(mm)	網目(mm)	適用																																																																																																																									
・ひし型金網	2.5	0.625																																																																																																																										
・クリンプ金網	2.5	1.0																																																																																																																										
・ステンレス平織金網	0.5	2.5																																																																																																																										
・溶接金網	3.2	50×50																																																																																																																										
○溶接金網	6.0	150×150																																																																																																																										
種類	施工箇所																																																																																																																											
・HL程度																																																																																																																												
○No.2B程度	図示箇所																																																																																																																											
・鏡面																																																																																																																												
種類	種類	色調など	施工箇所	備考																																																																																																																								
・A-1種(無着色)	・AA15																																																																																																																											
・A-2種(着色)	・AA15																																																																																																																											
○B-1種(無着色)	○B8	*シルバー		塗膜 *つや消し 皮膜 *マット処理																																																																																																																								
・B-2種(着色)	・B8																																																																																																																											
・C-1種(無着色)	・AA6																																																																																																																											
・C-2種(着色)	・AA6																																																																																																																											
・D種																																																																																																																												
・着色塗装																																																																																																																												
<p>9.7.2 材料</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 ○非着体に応じたものとし、(表9.7.1)を標準とする。</p>				<p>12.2.1 木材</p> <p>1.製材 ・「製材の日本農林規格」による製材 ・「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>線維</th> <th>笠木</th> <th>コーナー見切</th> </tr> <tr> <td>樹種</td> <td>タモ</td> <td>タモ</td> <td>タモ</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> </table>				施工箇所	線維	笠木	コーナー見切	樹種	タモ	タモ	タモ	寸法	図示	図示	図示	<p>(15.5.2) 材料</p> <p>仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・複層仕上塗材(F.T)</td> <td>・防水形複層塗材C ・防水型塊層塗材E ・防水形複層塗材S ・防水形複層塗材R</td> <td>・砂ず肌状 ・凸状 ・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> <td>上塗材種類 ・水系アクリルのつやあり ・弾性水系7ケルシリコン仕上(超低汚染型)</td> </tr> </table> <p>その他</p> <p>撥水材吹付 材料~シラン系クリア 製造所(製品名) 菊水化学工業(株)(シランコートHS)同等品以上</p>				種類	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層仕上塗材(F.T)	・防水形複層塗材C ・防水型塊層塗材E ・防水形複層塗材S ・防水形複層塗材R	・砂ず肌状 ・凸状 ・凹凸状	・吹付け	上塗材種類 ・水系アクリルのつやあり ・弾性水系7ケルシリコン仕上(超低汚染型)																																																																																											
施工箇所	線維	笠木	コーナー見切																																																																																																																									
樹種	タモ	タモ	タモ																																																																																																																									
寸法	図示	図示	図示																																																																																																																									
種類	呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																								
・複層仕上塗材(F.T)	・防水形複層塗材C ・防水型塊層塗材E ・防水形複層塗材S ・防水形複層塗材R	・砂ず肌状 ・凸状 ・凹凸状	・吹付け	上塗材種類 ・水系アクリルのつやあり ・弾性水系7ケルシリコン仕上(超低汚染型)																																																																																																																								
<p>保証年限</p> <p>防水保証年限は、引渡しの日から次表のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>保証年限(年)</th> <th>防水の種類</th> </tr> <tr> <td>10</td> <td>○アスファルト防水 ・改質アスファルト防水 ・シート防水 ・塗膜防水 ・浸透性塗布防水</td> </tr> </table>				保証年限(年)	防水の種類	10	○アスファルト防水 ・改質アスファルト防水 ・シート防水 ・塗膜防水 ・浸透性塗布防水	<p>12.3.1 防蟻・防蟻処理</p> <p>○防蟻処理 防蟻剤: ※(社)日本木材保存協会認定品又は同等品</p> <p>○防蟻処理 防蟻剤: ○有機リン系</p> <p>「防蟻施工標準仕様書並びに安全管理」((社)日本しろあり対策協会)による。 保証期間5年、専門業者の責任施工とし、報告書提出すること。 施工箇所・図示による</p>				<p>9.7.2 材料</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 ○非着体に応じたものとし、(表9.7.1)を標準とする。</p>				<p>14.2.1 ステンレスの表面仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・HL程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○No.2B程度</td> <td>図示箇所</td> </tr> <tr> <td>・鏡面</td> <td></td> </tr> </table> <p>14.2.2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>色調など</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・A-1種(無着色)</td> <td>・AA15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A-2種(着色)</td> <td>・AA15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○B-1種(無着色)</td> <td>○B8</td> <td>*シルバー</td> <td></td> <td>塗膜 *つや消し 皮膜 *マット処理</td> </tr> <tr> <td>・B-2種(着色)</td> <td>・B8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-1種(無着色)</td> <td>・AA6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-2種(着色)</td> <td>・AA6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・着色塗装</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				種類	施工箇所	・HL程度		○No.2B程度	図示箇所	・鏡面		種類	種類	色調など	施工箇所	備考	・A-1種(無着色)	・AA15				・A-2種(着色)	・AA15				○B-1種(無着色)	○B8	*シルバー		塗膜 *つや消し 皮膜 *マット処理	・B-2種(着色)	・B8				・C-1種(無着色)	・AA6				・C-2種(着色)	・AA6				・D種					・着色塗装																																																								
保証年限(年)	防水の種類																																																																																																																											
10	○アスファルト防水 ・改質アスファルト防水 ・シート防水 ・塗膜防水 ・浸透性塗布防水																																																																																																																											
種類	施工箇所																																																																																																																											
・HL程度																																																																																																																												
○No.2B程度	図示箇所																																																																																																																											
・鏡面																																																																																																																												
種類	種類	色調など	施工箇所	備考																																																																																																																								
・A-1種(無着色)	・AA15																																																																																																																											
・A-2種(着色)	・AA15																																																																																																																											
○B-1種(無着色)	○B8	*シルバー		塗膜 *つや消し 皮膜 *マット処理																																																																																																																								
・B-2種(着色)	・B8																																																																																																																											
・C-1種(無着色)	・AA6																																																																																																																											
・C-2種(着色)	・AA6																																																																																																																											
・D種																																																																																																																												
・着色塗装																																																																																																																												
<p>防水の水張試験</p> <p>1.水張試験 ・行う ○行わない</p> <p>1) 水張試験の範囲 () 2) 水張試験の時間 (*24時間 *48時間) 3) 水張試験における水深は、設計荷重を超えない範囲で設定する。</p>				<p>12.2.1 木材</p> <p>1.製材 ・「製材の日本農林規格」による製材 ・「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>線維</th> <th>笠木</th> <th>コーナー見切</th> </tr> <tr> <td>樹種</td> <td>タモ</td> <td>タモ</td> <td>タモ</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> </table>				施工箇所	線維	笠木	コーナー見切	樹種	タモ	タモ	タモ	寸法	図示	図示	図示	<p>(15.5.2) 材料</p> <p>仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・複層仕上塗材(F.T)</td> <td>・防水形複層塗材C ・防水型塊層塗材E ・防水形複層塗材S ・防水形複層塗材R</td> <td>・砂ず肌状 ・凸状 ・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> <td>上塗材種類 ・水系アクリルのつやあり ・弾性水系7ケルシリコン仕上(超低汚染型)</td> </tr> </table> <p>その他</p> <p>撥水材吹付 材料~シラン系クリア 製造所(製品名) 菊水化学工業(株)(シランコートHS)同等品以上</p>				種類	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層仕上塗材(F.T)	・防水形複層塗材C ・防水型塊層塗材E ・防水形複層塗材S ・防水形複層塗材R	・砂ず肌状 ・凸状 ・凹凸状	・吹付け	上塗材種類 ・水系アクリルのつやあり ・弾性水系7ケルシリコン仕上(超低汚染型)																																																																																											
施工箇所	線維	笠木	コーナー見切																																																																																																																									
樹種	タモ	タモ	タモ																																																																																																																									
寸法	図示	図示	図示																																																																																																																									
種類	呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																								
・複層仕上塗材(F.T)	・防水形複層塗材C ・防水型塊層塗材E ・防水形複層塗材S ・防水形複層塗材R	・砂ず肌状 ・凸状 ・凹凸状	・吹付け	上塗材種類 ・水系アクリルのつやあり ・弾性水系7ケルシリコン仕上(超低汚染型)																																																																																																																								

16章 建具工事		18章 塗装工事		2節 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り		3節 壁紙張り	
16.1.3 防火戸	防火戸の指定： ・図示 ・	18.1.3 材料	1. 塗料のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 2. 屋内の壁・天井に使用する塗料は、塗布する基材と同等の防火性を有し、認定を受けた防火材料とする。 3. 屋内で塗布する塗料は、原則としてトルエン・キシレンを含まないものとする。ただし、キシレンは塗料の種類により配合が必要な場合、極力少ないものを選択する。 4. 内装塗料仕上げに使用する塗料は、原則として防汚型とする。 5. 塗料は、極力鉛を配合しないもの、あるいは配合量の少ないものから選定する。 6. 次に建築物全般について鉛フリーの塗料を適用する場合は、該当部位に用いる塗料の種類により鉛を配合しないものとする。 塗料の種類により鉛を配合が必要な場合は、塗料中の鉛含有量が0.06%以下のものとする。 指定した色調により着色顔料に鉛が含まれる恐れがある場合は、塗料製造者の製品安全データシート (MSDS) により確認をする。 *適用しない ○適用する (○すべての塗料 ・隠ぺい部以外の部分)	19.2.2 材料	19.2.1 19.2.3 19.2.4 19.2.5 19.2.6 19.2.7 19.2.8 19.2.9 19.2.10 19.2.11 19.2.12 19.2.13 19.2.14 19.2.15 19.2.16 19.2.17 19.2.18 19.2.19 19.2.20 19.2.21 19.2.22 19.2.23 19.2.24 19.2.25 19.2.26 19.2.27 19.2.28 19.2.29 19.2.30 19.2.31 19.2.32 19.2.33 19.2.34 19.2.35 19.2.36 19.2.37 19.2.38 19.2.39 19.2.40 19.2.41 19.2.42 19.2.43 19.2.44 19.2.45 19.2.46 19.2.47 19.2.48 19.2.49 19.2.50 19.2.51 19.2.52 19.2.53 19.2.54 19.2.55 19.2.56 19.2.57 19.2.58 19.2.59 19.2.60 19.2.61 19.2.62 19.2.63 19.2.64 19.2.65 19.2.66 19.2.67 19.2.68 19.2.69 19.2.70 19.2.71 19.2.72 19.2.73 19.2.74 19.2.75 19.2.76 19.2.77 19.2.78 19.2.79 19.2.80 19.2.81 19.2.82 19.2.83 19.2.84 19.2.85 19.2.86 19.2.87 19.2.88 19.2.89 19.2.90 19.2.91 19.2.92 19.2.93 19.2.94 19.2.95 19.2.96 19.2.97 19.2.98 19.2.99 19.2.100	19.8.2 材料 19.8.3 施工	壁紙はJIS A 6921により、建築基準法に基づく防火材料の指定または認定を受けたもの。 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ () 施工箇所 品質 防火性能の等級 製造所、製品 掲示用クロス 防かび抗菌 ・1級 ・2級 ・(準不燃以上) サンフォーム・ベージュック (株サンゲツ) 同等以上 木目調シート 塩ビシート ・1級 ・2級 ・(準不燃以上) リアテック リアルウッド (株サンゲツ) 同等以上 素地ごしえの種別 モルタル及びプラスチック ・A種 ※B種 セッコウボード面 ・A種 ※B種 施工業者 ※内装専門業者とする ・ ()
16.1.4 見本の制作等	建具見本の制作： ・必要 ○不要 仮組の実施： ・行う ○行わない 防犯建物部品の適用： ・図示 ・適用 ○適用しない	18.1.4 施工一般	1. 壁面及び天井の塗装は、ローラーブラシ塗り仕上げを原則とする。ロックウール化粧吸音板に塗装する場合は、シーラー処理のうえ吹付け塗りとする。	19.2.2 材料	19.2.1 19.2.3 19.2.4 19.2.5 19.2.6 19.2.7 19.2.8 19.2.9 19.2.10 19.2.11 19.2.12 19.2.13 19.2.14 19.2.15 19.2.16 19.2.17 19.2.18 19.2.19 19.2.20 19.2.21 19.2.22 19.2.23 19.2.24 19.2.25 19.2.26 19.2.27 19.2.28 19.2.29 19.2.30 19.2.31 19.2.32 19.2.33 19.2.34 19.2.35 19.2.36 19.2.37 19.2.38 19.2.39 19.2.40 19.2.41 19.2.42 19.2.43 19.2.44 19.2.45 19.2.46 19.2.47 19.2.48 19.2.49 19.2.50 19.2.51 19.2.52 19.2.53 19.2.54 19.2.55 19.2.56 19.2.57 19.2.58 19.2.59 19.2.60 19.2.61 19.2.62 19.2.63 19.2.64 19.2.65 19.2.66 19.2.67 19.2.68 19.2.69 19.2.70 19.2.71 19.2.72 19.2.73 19.2.74 19.2.75 19.2.76 19.2.77 19.2.78 19.2.79 19.2.80 19.2.81 19.2.82 19.2.83 19.2.84 19.2.85 19.2.86 19.2.87 19.2.88 19.2.89 19.2.90 19.2.91 19.2.92 19.2.93 19.2.94 19.2.95 19.2.96 19.2.97 19.2.98 19.2.99 19.2.100	19.8.2 材料 19.8.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.2.2 性能及び構造	アルミニウム製建具 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ○種 ○-4 ○-3 ○-4 ○0 ○種 ○S-5 ○-3 ○-4 ○0 ○種 ○S-6 ○-4 ○-5 ○-100 防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 (防衝省2級v防音工事適合品) ・適用しない ○ 断熱ドアセット、サッシの適用： ・適用 ○適用しない ・図示 耐震ドアセットの適用： ・適用 ○適用しない ・図示	18.1.5 見本	1. 見本は、原則として基材・各塗料種別・色調ごとに色見本塗板を作成する。監理者の指示により見本帳に替えることができる。 2. 各塗料種別ごとに塗料工程表・使用材料表を作成する。 3. 監理者の指示により、工法・技能・色・つや・配色・仕上げ程度及び仕上げ面の状態などを検討するために、試験塗りを行う。	3節 カーペット敷き	(19.3.3) 材料	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 種別3級 (JIS A 1321) 相当 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.2.3 材料	防虫網の適用： ○適用 ・適用しない ・図示 網の材質： ※合成樹脂製 ・ステンレス製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 形式： ○外面納まり可動式 ・外面納まり固定式	18.1.8 専門工事業者の選定	1. 塗装専門工事業者 *日本塗装工業会の会員 ・監理者の承諾する業者 2. 工事指導者は、必要に応じ危険物取り扱い者の有資格者とする。	4節 合成樹脂塗床	19.4.2 材料 19.4.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.2.4 形状及び仕上げ	建具枠の見込： ・図示 ・70 ・100 ・ 外部に面する建具の表面処理： ・B-1種 ○B-2種 屋内の建具の表面処理： ・D-1種 ○ 表面色： ○標準色 ・特注色 引違い建具落下防止機構： ・採用する ・採用しない 水切り板： ○取付ける ・取付けない ぜんば： ○取付ける ・取付けない 結露水の処理方法： ○建具から外へ排出 ・	19.4.2 材料 19.4.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	5節 フローリング張り	19.5.2 材料 19.5.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.4.2 性能及び構造	鋼製建具 性能及び構造： ※JIS規格による ・ 外部に面する鋼製建具の耐風圧性能： ・S-4 ・S-5 ○S-6 ・	19.5.2 材料 19.5.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	6節 セッコウボード、その他ボード及び合板張り	19.7.2 材料 19.7.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.4.4 形状及び仕上げ	鋼板の厚さ： ※標準仕様書表16.4.2による ・ 防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ○適用しない ・図示 遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 ・図示	19.7.2 材料 19.7.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	7節 せっこうボード、その他ボード及び合板張り	19.7.2 材料 19.7.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.5.2 性能及び構造	鋼製軽置建具 性能及び構造： ※JIS規格による ・ 簡易気密型ドアセットの適用： ・適用 ・適用しない ・図示	19.7.2 材料 19.7.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	8節 パーティクルボード	19.7.2 材料 19.7.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.5.3 材料	鋼板の種類： ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ・図示 ・ 召合わせ、縦小包み板等の適用： ・適用 ・適用しない ・図示	19.7.2 材料 19.7.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	9節 断熱・防露	19.9.2 材料 19.9.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.5.4 形状及び仕上げ	材質： ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム押出型材 ・ 鋼板の厚さ： ・図示 ・0.6mm ・1.5mm (ステンレス鋼板) ・1.6mm ・2.3mm ・	19.7.2 材料 19.7.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	10節 フローリング張り	19.7.2 材料 19.7.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.7.2 材料	木製建具 建具材の加工、組立て時の含水率の種類： ・A種 ※B種 ・C種 ・フラッシュ戸の心材の中骨、上下棧及び中棧には空気穴を適正に設ける。	19.7.2 材料 19.7.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	11節 断熱・防露	19.9.2 材料 19.9.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.8.2 材質、形状及び寸法	建具用金物 金物の種類、材質： ※標準仕様書表16.8.1による ・	19.7.2 材料 19.7.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	12節 断熱・防露	19.9.2 材料 19.9.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.8.4 鍵	マスターキー： ○製作する ・製作しない ○マスターキーの本数及び系統については施設管理者及び監督員と協議する。 出前時の子鍵本数： ※3本 ・本 鍵箱の適用： ○必要 ・不必要	19.7.2 材料 19.7.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	13節 断熱・防露	19.9.2 材料 19.9.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.10.3 性能等	自閉式上吊り引戸装置 性能： ※標準仕様書表16.10.1による ・	19.7.2 材料 19.7.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	14節 断熱・防露	19.9.2 材料 19.9.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。
16.14.2 材料	ガラス ガラスの種類： ○図示 ・ ガラス留め材 建具の種類 種類・材質 ○アルミニウム製 *シーリング材・ガラスケット・パナチ材(1種・2種) ・鋼製 *シーリング材・パナチ材(1種・2種) ・ステンレス製 *シーリング材・パナチ材(1種・2種) ・木製 *シーリング材・パナチ材(木製用) 金属性製建具用パナチはJIS A 5752による。	19.7.2 材料 19.7.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。	15節 断熱・防露	19.9.2 材料 19.9.3 施工	19.9.2 材料 19.9.3 施工	1. 断熱・防露 1) 種類・種別 ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 *一般部 2種 *土に接するスラブ下面 3種 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材) *A種1 (ノンフロン) 2) 断熱材の厚さまたは吹付け厚さ ○設計図による 3) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * F☆☆☆☆ 4) 内装制限が及ぶ室内及び天井裏の吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は表面に防火コートを実施。 5) サッシ周りはモルタル充填を完全におこなったうえで断熱材を待または縁縁まで施し、断熱材の欠損をなくす。

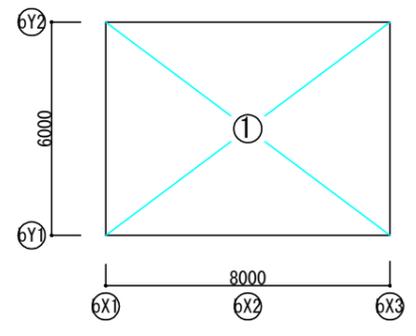
20章 ユニット及びその他工事		カーテン及びカーテンレール				22章 舗装工事				8節 ブロック系舗装		
1節 一般事項		施工箇所 ぎれ地名等買ひだの種別 形 閉閉装置 製造所、製品 カーテン ポリエステル プレーン ・片引き・引分け ・有 ※無 アスワン(エコマスター)スズエ(Tフボキヤン)川島織物(ホスピア)同等以上 遮光カーテン ポリエステル プレーン ・片引き・引分け ・有 ※無 電動遮光カーテン ポリエステル プレーン ・片引き・引分け ・有 ※無 ホスピタルカーテン ポリエステル プレーン ・片引き・引分け ・有 ※無 ※遮光用カーテンの両端、上部及び召合せの重掛けは300mm以上とする。 カーテンレール 材種 ※ステンレス製 ・アルミニウム製 ・鋼製 形状 ※C型又はD型 ・角型 コーナーガード 材種 ※ステンレス製 ・(図示による)				2節 路床 (22.2) 路床の構成及び仕上り 路床の構成 遮断層の適用： ○・適用しない ・適用する 厚さ： ・車道部 mm ・歩道部 mm 凍上抑制層の適用： ○・適用しない ・適用する 厚さ： ・車道部 mm ・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用： ○適用しない ・適用する 厚さ： ・車道部 150mm ・歩道部 50mm 路床安定処理の適用： ・適用しない○ ・適用する 方法： ○添加材による処理 ・図示 ・ 材料の配合量については現地試料土による室内配合試験による。 安定処理 方法 添加材料の種類 添加量 添加材料による処理 高炉セメントB種 (注)添加材料の種類をセメント系材料とする場合は、(1.3.7) [施工中の安全確保]及び(1.3.10) 施工中の環境保全等により、「セメント及びセメント系固着材を利用した改良土の六面クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、試験を行う。 (22.3) 材料 盛土の種類： ・A種 ・B種 ○種 ・D種 ○真砂土(コンクリート擁壁埋戻土) 遮断層の材料： ・良質な砂(75µmふるい通過量10%以下) ・図示 ・ 路床安定処理用添加材料： ・セメント系固着材 ・フライアッシュセメント ・消石灰【・特号 ・1号】 ・生石灰【・特号 ・1号】 ジオテキスタイルの適用： ・適用しない ・適用する； (22.5) 試験 路床土のCBR試験： ・行わない○ ・行う ○乱した土 ・乱さない土 路床締固め試験： ○行う ・行わない				2節 ブロック系舗装 (22.8.2) 舗装の構成及び仕上り インターロッキングブロック舗装 種類 厚さ(mm) 色彩及び表面加工等 ○標準ブロック 車道部 ※○ 歩道部 ※○ ○標準品 ・透水ブロック 誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック ※80 ・100 ・150 ○ 洗い出し仕上げ 製造所 (インフラテック(株)) (福岡ILB(株)) (森ブロック工業(株)) 同等品以上 (その他) 区画線等 トラフィックペイント JIS K 5665 ※浴槽型(厚1.5) ・加熱型(厚1.0程度) 区画線幅 ※150 ・() ○身障者用駐車場スペース表示 ・駐車スペースナンバー表示(350角)		
20.1.3 材料・工法の選定		1. 材料・規格等 JIS・JASその他の規格のあるものは、それぞれの規格品または認定品とする。 2. 既製品は見本またはカタログを提出し監理者の承認を受ける。 金属系サイディング 仕様・種別・寸法等 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 t16程度、遮熱性フッ素焼付塗装品、動き幅400、木目調縦張り 木造下地軸組工法、塗装変色保証10年、赤サビ保証10年 外装材及び付属する部材についてはメーカー純正品と同等品とする。 製造所(製品名) ケイミュ(株) (はる・一・番 和木目柄II) 同等品以上 ミニベンチ 寸法・規格等 図示 施工箇所 運転手待機所 製造所 (パナソニック(株)) ((株)LIXIL) () 同等品以上 大型片引戸 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製造所(製品名) (株)LIXIL(アペリドールBタイプ)、四国化成工業(株)(スタックラインMA型) 同等品以上 メッシュフェンス 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製造所(製品名) 朝日スチール工業(株)(ユフェンスA型) 同等品以上 ネットフェンス 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製造所(製品名) 朝日スチール工業(株)(PCフェンス) 同等品以上 ガードレール 寸法・規格等 溶融亜鉛めっきの上熱硬化性アクリル樹脂系塗装品 Gr-C-20-4 施工箇所 図示 製造所(製品名) JFE建材(株)(ガードレール) 同等品以上 グランド舗装 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製造所(製品名) (株)スポーツテクノ和広(モストクレイ舗装) 同等品以上 掲揚台 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製造所 (株)スポーツテクノ和広 同等品以上 体育器具・遊具 寸法・規格等 (社)日本公園施設業協会 公園施設団体賠償保険等の保険に加入したもので、その加入証の写し及び保証書を提出すること。 施工箇所 図示 製造所 (株)スポーツテクノ和広 同等品以上				2節 植栽基礎 一般 有効土層として整備する面積/厚さ： ・図示 ※標準仕様書表20.2.1による 基礎浸透排水施設の設置： ・設置する ・設置しない 排水施設： ・図示 ・暗渠 ・開渠 ・排水層 ・縦穴排水 ・ 植栽基礎整備工法(樹木)： ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 植栽基礎整備工法(芝、地被類)： ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 土壌改良の適用： ・適用する ・適用しない 材料 植込み用土： ・現場発生の良質土 ・客土 土壌改良材： ・バーク堆肥 ・発酵下水汚泥コンポスト ・ バーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用： ・適用しない ・適用する； 3節 植樹 材料 樹木の樹種/寸法/株立ち数等： ・図示 ・ 新植樹木の枯損償 償償期間： ※引渡しの日から1年 ・						
21章 排水工事		1節 一般事項 21.1.3 雨水排水計算書 1. 設計図の雨水排水計画に基づき、着工後速やかに敷地全般を含めた雨水排水計画書を作成し、監理者の承認を受ける。異種工事や関連工事の取り合いとなる部分ではくちがいのないよう、施工計画調整を行う。 2. 雨水排水計画については、建築設計条件の降雨条件により請負者にて再計算し、施工に反映する。この場合、必要な機、とい部材などは、本工事に含まれるものとする。 21.2 排水管 寸法・規格等 *図示による。 側境、排水樹等 寸法・規格等 *図示による。 スチール製グレーチング蓋等 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製造所 (カネソウ(株)) (福西鋳物(株)) (第一機材(株)) 同等品以上 種類 形式 用途 適用荷重 メンバーピッチ 備考 鋼製 ○受付枠 ○溝ふた(横断用) ・歩行用 ○溝ふた(側溝用) ○T-2用 35mm 15m 図示 ・T-6用 ○ますふた用 ○U字溝用 ○-20用 35mm 15m 図示 ・T-14用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 ・ますふた用 ・U字溝用				4節 アスファルト舗装 (22.4.4) 配合その他 加熱アスファルト混合物の種類 表層 ○粗粒度アスファルト混合物 (13) ・(13F) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・(13F) 基層 粗粒度アスファルト混合物(20) (22.4.5) 施 工 シールコート ・行う (22.4.6) 試 験 アスファルト混合物の抽出試験○ ・行う 5節 コンクリート舗装 (22.5.3) 材 料 早強セメント ・使用する (22.5.6) 試 験 コンクリート版厚さ試験 ・行う 6節 カラー舗装 (22.6.2) 舗装の構成及び仕上り カラー舗装の種類 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 ・樹脂系混合物 ・ニート工法 ○塗布工法						
23章 植栽工事及び屋上緑化工事												



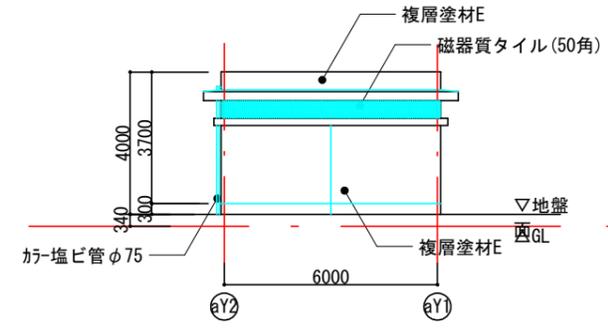
平面図



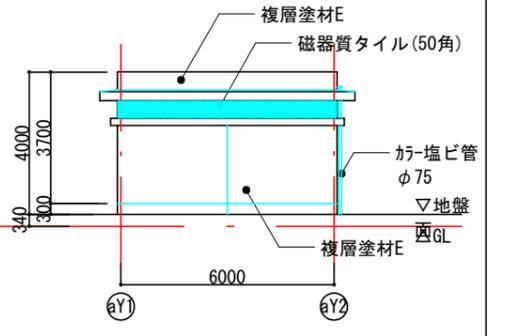
屋根伏図



求積図・面積表

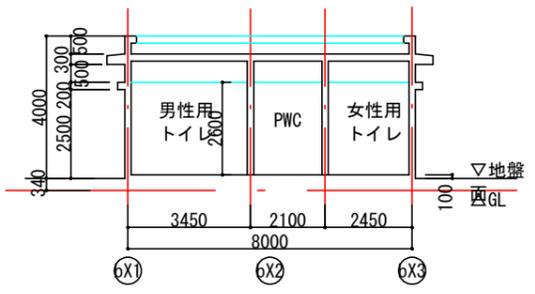


北側立面図

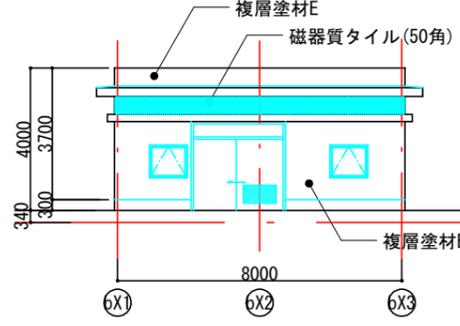


南側立面図

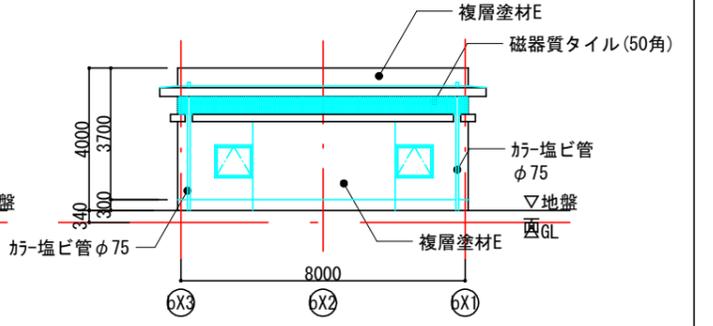
建具表		① AW 滑り出し窓 S=1:50	① AD 片引き扉 S=1:50
数量		4箇所	1箇所
形状			
寸法		1800 x 950 (有効1200)	4880 x 2000 (有効1200)
材質・見込		アルミ 70	アルミ 100
仕上		アルマイト処理	アルマイト処理
硝子		強化ガラス(7)4.0	—
附属金物		アングルピース、引寄せハンドル、7&水切他附属金物一式	引戸用鍵、睿摺引手、ハンガーレール、ガラリ、他附属金物一式
備考		—	—



A-A'断面図



西側立面図



東側立面図

符号	形式	② AD 片引き扉 S=1:50	③ AD 片引き扉 S=1:50	④ AD 片引き扉 S=1:50	① TB トイレブース S=1:50	② TB トイレブース S=1:50	③ TB トイレブース S=1:50
数量		2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
形状							
寸法		2000 x 800	1900 x 1400	2000 x 650	1900 x 1480	1900 x 1480	1900 x 1480
材質・見込		アルミ 100	アルミ 100	アルミ 100	扉:フェノール樹脂板t13、前パネル:フェノール樹脂板t18、奥行パネル:フェノール樹脂板t18	扉:フェノール樹脂板t13、前パネル:フェノール樹脂板t18、奥行パネル:フェノール樹脂板t18	扉:フェノール樹脂板t13、前パネル:フェノール樹脂板t18、奥行パネル:フェノール樹脂板t18
仕上		アルマイト処理	アルマイト処理	アルマイト処理	全てF☆☆☆☆品	全てF☆☆☆☆品	全てF☆☆☆☆品
硝子		—	型板ガラス(7)4.0	—	—	—	—
附属金物		丁番、ハンドル、睿摺、戸当たり、ガラリ他附属金物一式	引戸用鍵、睿摺、シリンドラ鍵引手、ハンガーレール、ガラリ、他附属金物一式	丁番、ハンドル、睿摺、戸当たり、ガラリ他附属金物一式	引戸用鍵、表示付打掛鍵、SUS巾木(H=60)、戸当りフック他附属金物一式	引戸用鍵、表示付打掛鍵、SUS巾木(H=60)、戸当りフック他附属金物一式	引戸用鍵、表示付打掛鍵、SUS巾木(H=60)、戸当りフック他附属金物一式
備考		—	—	—	—	—	—

※GLは、校舎棟設計の基準GL(標高51.80m)とする。

構造特記仕様書 2019年度版

§1 一般事項

1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。

1-2 設計図書の優先順位は下記による。

1)本特記仕様書

2)設計書

3)標準図

4)仕様書

5)日本建築学会標準仕様書、JASS5(2018)、JASS6(2018)

1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承認を得る。

1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。

1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承認を得る。

1-6 採算適位置、径、及び箇所数は()で示す。

1-7 その他

§2 構造計算ルート

2-1

方向	構造計算ルート			
X	● ルート1	● ルート2	● ルート3	●
Y	● ルート1	● ルート2	● ルート3	●

2-2

鉄筋の継手

構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ

◎ 建築基準法施行令第73条(政令第73条第2項)による仕様規定

● 日本建築学会 JASS5(2018)鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説

● 日本建築学会 RC規準2018

XY両方向ルート3及び限界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によるJASS5(2018)鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRRC規準2018とすることができ、ルート1の場合は、大梁(地中梁含む)主筋の定長さとは、40%以上とする。

§3 仮設工事、土工事

3-1 山留め、根切り

3-2 埋戻し土、盛土、残土処分

埋戻し土 ◎根切り土の中の良土 ● 搬入良土

盛土 ◎根切り土の中の良土 ● 搬入良土

残土処分 ◎ 場内処分 ● 指定場所

§4 地業工事

4-1 基礎及びスラブ下地業 (単位:mm)

場所	捨てコンクリート厚さ	※ (1)		厚さ
		A : 砕石	B : 断石	
基礎	独立布	* 50 ● 60 ● 100	* A ● B	* 60 ● 100 ● 150 ●
	ベタ	◎ 50 ● 60 ● 100	* A ● B	* 60 ● 100 ● 150 ●
基礎梁	◎ 50 ● 60 ● 100	◎ A ● B	◎ 60 ● 100 ● 150 ●	
	構造スラブ	◎ 50 ● 60 ● 100	◎ A ● B	◎ 60 ● 100 ● 150 ●
土間コンクリート	室内	* 50 ● 60 ● 100	* A ● B	* 60 ● 100 ● 150 ●
	屋外	● 50 ● 60 ● 100	* A ● B	* 60 ● 100 ● 150 ●

注 (1)アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。

(2)増幅率は100以上とする。

4-2 設計地耐力

長期	30.50 kN/m ²	短期	60.100 kN/m ²	終局	— kN/m ²
----	-------------------------	----	--------------------------	----	---------------------

4-3 地盤改良

● 無筋コンクリート地業 ● 締固め工法 ● ソイルセメント杭

● セメント系固化材攪拌 ● 圧密排水工法 ●

[● 載荷試験 ● 一軸圧縮試験] ● 行う (箇所) ● 行わない

[◎ 六価クロム溶出試験] ● 行う ● 行わない

4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭

1)杭種

● PHC杭 ● A種 ● B種 ● C種 ●

● ST杭 ● A種 ● B種 ● C種 ●

● SC杭 t mm ● 9mm ● 12mm ● 14mm ●

● CPRC杭 ● I種 ● II種 ● III種 ● IV種 ●

● 鋼付PHC杭 ● A種 ● B種 ● C種 ●

2)工法

● 打撃工法 ● 油圧ハンマー ● ディーゼルハンマー

● 埋込み工法 ● プレローピングセメントミックス注入工法

● プレローピング拡大掘削工法(認定工法)

杭用固定液 ● あり ● なし

● 中掘り拡大掘削工法(認定工法)

● 回転掘削工法(認定工法)

3)杭径設計耐力本数表

● 杭伏間、杭リストによる

4)杭の構成は設計図による。

5)杭頭補強

● かご筋 ● スタッブ溶接 ● 杭外周溶接

4-5 場所打鉄筋コンクリート杭場所打鋼管コンクリート杭

1)工法

● アースドリル工法 ● 拡張アースドリル工法

● リバース工法 ● オールケーシング工法 (● ベノト工法 ●)

● 掘削工法 ●

2)杭径設計耐力本数表(拡張部は施工を示す)

● 杭伏間、杭リストによる

3)杭先端深さ G_L- m

4)孔深測定 (2 方向)

* 行う (● 全数 ● %) ● 行わない

5)使用材料

コンクリート F_c (● 普通ポルトランドセメント ● 高炉セメント B種)

鉄筋

● D16 以下 S0295A ● D25 以上 S0345

● D29 以上 S0390

● SKK400 ● SKK490

鋼管(リブ付)

● 水セメント比は高炉セメントを使用する場合、混合物の10分の3を除いた部分とその質量として用いるものとする。

4-6 杭打地業共通事項

1) [● 試験杭 ● 試験図] ● 行う (本) ● 行わない

2) 載荷試験 ● 行う (箇所) ● 長期設計耐力の3倍を確認する) ● 行わない

3) SL塗布 ● 行う ● 行わない

§5 鉄筋工事

5-1

種類	径	継手
◎ S0295A	D16 以下	◎ 重ね継手 ● スパイラル ● 工場溶接
◎ S0345	D19 以上 D25 以下	● 重ね継手 ◎ ガス圧接 ● 溶接継手
◎ S0390	D29 以上	* ガス圧接 ● 溶接継手 ● 機械継手(級)
● S0490	D 以上	◎ ガス圧接 * 溶接継手 ● 機械継手(級)
● 溶接金網		● 重ね継手
● 高強度せん断補強筋	● 1275級 P ● 785級 K ● 685級 U	● フック加工 ● スパイラル ● 工場溶接

5-2

ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)

◎ 抜取り検査

● 引張り試験 (JISZ3120)

1 検査ロットにつき ◎ 3 本 ● 原則 柱・梁の径毎に3本

● 超音波探傷試験 (JISZ3062)

● 熱間押抜き試験

1 検査ロットにつき ● 30 箇所 ●

● 不合格となった圧接部は切り取って再圧接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。

1 検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧接部数の数量で200箇所以内

5-3 清掃、機械式継手の検査は各々の認定方法による他日本継手協会仕様書(2017年)による。

5-4 採算適補強

補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。

5-5 その他

基礎梁、基礎小梁の継手及び定端は原則として

● ①一般 ● ②地反力を受ける

◎ ③載荷重が大きい場合

梁の余長 ◎採用 大梁・小梁 *D'(梁有効長) ● 端部上下筋15φ 中央上下筋2φd

*min(D' L') ● 端部上下筋15φ 中央上下筋2φd

鉄筋の組立は適切な位置にスベサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。

コンクリートを2回打する部材は、初期の打設後に鉄筋の清掃を行う。

コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

6-1

設計基準強度 (N/mm²)

1)セメント

◎ 普通ポルトランドセメントJSR5210 ● 高炉セメントB種

● 低熱ポルトランドセメントJSR5210

2)粗骨材

◎ 砂利 ◎ 砕石 ◎ 軽質スラグ骨材 ● 人工軽質骨材 ● 再生骨材

最大径(mm)

◎ 20 ● 25 ● 40

3)躯体(使用区分は設計図の軸組図に示す)

● 普通コンクリート

● Fc18 ● Fc21 ● Fc24 ● Fc27 ● Fc30 ● Fc ● Fc

● 軽量コンクリート(● 1種 ● 2種 気乾単位容積質量 * 185 ●)

● LFc18 ● LFc21 ● LFc24 ● LFc27 ● LFc30 ● LFc

4)土間コンクリート ● Fc 18 (ただし柱・壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)

5)捨てコンクリート ● Fc 15

6)防水押さえコンクリート ● Fc ● LFc (気乾単位容積質量 * 185 ●)

7)デッキコンクリート ● Fc 21 ● LFc (気乾単位容積質量 * 185 ●)

6-2 選別材

* AE 減水剤 ● 高性能 AE 減水剤 ● 防水剤 ● 阻害剤

注1:混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたものを使用する。

6-3

箇所	基礎	基礎梁	一般	備考
スランブ	cm	15	18	
水セメント比	%	55以下	55以下	
単位水量	kg/m ³	185以下	185以下	
単位セメント量	kg/m ³	270以上	270以上	

6-4

試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公称期間に行う)

1)骨材 [● 塩分含有量 ● アルカリシカ反応性] ◎ 行う ● 行わない

2)フレッシュコンクリート [◎ スランブ ◎ 空気量] ◎ 行う ● 行わない

3)躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験 * 行う ◎ 行わない

4)コンクリートコア抜き取り圧縮試験 ● 行う ◎ 行わない

5)マスコンクリートのひび割れ調査(湿度応力解析) ● 行う ◎ 行わない

6)単位水量測定 ● 行う ◎ 行わない

6-5

調査(補正値は工事費に含む)

計画供用期間の級()は耐久設計基準強度F_d

● 短期(18) ● 標準(24) ● 長期(30) ● 超長期(36)

調査管理強度 F_m=Max(F_cF_d)+S S=3~6

材料28日の調査強度Fは下記の式を満足するものとする。

F_d≧F_m+1.73σ F_d≧0.85F_m+3σ

6-6 せき板及び支柱の在り期間(普通ポルトランドセメントの場合)

コンクリートの材料による場合	15℃以上	3日	17日	28日
	5℃以上	5日	25日	
	0℃以上	8日	28日	
圧縮試験による場合	5N/mm ²		0.85F _c 又は12N/mm ² 以上	設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。

6-7 住宅性能表示

劣化等級 ● 等級2 ● 等級3

劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2~7かぶり厚さ

が異なる場合があるので注意すること。

コンクリートの充填・打層部の処理方法：養生に関してはJASS5(2018)第7節及び第9節による。

6-8 Fc30を超える高強度コンクリートは別記特記仕様書(JASS5等)による。

§7 鉄骨工事

7-1

規格名称	鋼材名	柱	通しスライフ	内スライフ	大梁	フレース	小梁
一般構造用圧延鋼材	◎ SS400 ●					○	○
溶接構造用圧延鋼材	◎ SM400A ● SM490A						
建築構造用圧延鋼材	◎ SN400A ●						
	◎ SN400B ◎ SN490B		○	○		○	
一般構造用角形鋼管	◎ STKR400 ● STKR490	○					
冷間成形角形鋼管	◎ BCR295 ●	○					
	◎ BCP235 ● BCP325						
熱間成形角形鋼管	◎ SHC400B ● SHC400C						
	◎ SHC490B ● SHC490C						
一般構造用炭素鋼管	◎ STK400 ● STK490						
一般構造用軽量鋼管	◎ SSC400 ●						
建築構造用圧延鋼線	◎ SNR400 ●						

7-2 高力ボルト

高力ボルトの種類		使用箇所
トルシア形高力ボルト	◎ S10T	全般
JIS高力ボルト	◎ F10T	トルシア形が使用できない部分
溶融鋳造めっき高力ボルト	◎ F8T	母材が鋳造めっきされている部分
超高力ボルト	◎ S14T	屋内環境

7-3 普通ボルト、アンカーボルト

1) 材質 ● SS400 ● SS490 (M18以上)

◎ ABR400 ● ABR490 ● ABM400 ● ABM490(ABMはM24以上)

2) 大径認定仕様(メーカー仕様にによる)

● 使用する ● 使用しない

7-4 鎖付きスタッド

径	長さ(mm)	使用箇所
16φ	● 80 ◎ 100 ● 120 ● 150 ●	
19φ	● 80 ● 100 ● 120 ● 150 ●	
22φ	● 100 ● 120 ● 150 ●	

7-5 溶接材料

1)アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法及び溶接条件に相応したものを選定する。

2)ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとす。

7-6 スカラップ形状 * スカリップ工法 ● ノンスカラップ工法

7-7 継手

	柱	梁
フランジ	● 高力ボルト ● 現場溶接	* 高力ボルト ● 現場溶接
ウェブ	● 高力ボルト ● 現場溶接	* 高力ボルト ● 現場溶接

7-8 溶接手法及び管理

1) 使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバース温度等の仕様については鉄建協又は全鋼協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。

2) 本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技能者技能検定付加試験を ● 行う ● 行わない

3) AW検定(工場・現場・代替タブ)の有資格者で、係員の承認を受けた者は技能検定付加試験を免除する。

7-9 デッキプレート (単位 mm)

1) 床用 高さ ● 板厚 ●

2) 合成スラブ用 高さ ● 板厚 ●

3) 型枠用 高さ ● 75 板厚 ● 0.8

4) 防錆処理 ● プライマー ● 塗膜めっき ◎ Z12 ● Z27

7-10 塗装(工場塗 * 2回)

● 1回、現場タッチアップ程度とする)

1) 素地調整 * クレンス ● プラスト

2) 下塗り用塗料

適用	塗料	種別	標準膜厚
屋外	●	●	●
* *	鉛、クロムフッ素-錆び止め JSK5674	* 1種 * 2種	30μm
●	水素及び止めポイント JASS18 M-111		30μm
●	変性エポキシ樹脂プライマー JASS18 M-109	● 1種 ● 2種	40μm
●	有機ジシランプライマー JSK5552	● 2種	15μm
●	構造用さび止めポイント JSK5551	A種	30μm

3) 溶融鋳造めっき ● 行う ● 行わない

4) 常温鋳造めっき ● 行う ● 行わない

7-11 溶接部の検査(受入検査)

* 行う ● 行わない

1)受入検査を行う第三者検査機関は、建築士、設計者、工事監理者又は工事施工者(工頭)との直接契約による。

2)第三者検査機関は(社)日本建築協会によるCIV検査事業者認定制における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。

3)受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。

4)外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2018 付録6 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。

5)超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規程・同解説」2018により、合格判定は7.2)疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。

6)溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2018」表10.1溶接箇所数の数え方による。

7)受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。

a)工場溶接の場合

i 検査ロットは各各、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。

ii 抜取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。

iii 大きさ30個のサンプル中の不適合個数が1個以下のときはロットを合格とし、4個以上のときはロットを不合格とする。ただし、サンプル中の不適合個数が1個を超え4個未満のときは、同じロットからさらに30個のサンプルを抜取り検査する。総計60個のサンプルについての不適合個数の合計が4個以下のときはロットを合格とし、5個以上のときはロットを不合格とする。

b)現場溶接の場合

i 全数検査とする。

8)検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。

9)ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違いの仕口の補修」・補強マニュアル」等を参考にする。

7-12 鉄骨製作工場

国土交通省大臣認定(グレード)					
S	H	M	◎ J		

上記グレード以上とする。

§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PC板工事

8-1 コンクリートブロック

1)種類 ● A種 ● B種 ● C種

2)厚さ mm ● 100 ● 120 ● 150 ● 190

8-2 ALC パネル

1)使用箇所 ● 床 ● 屋根 ● 外壁 ● 内壁

2)厚さ mm ● 75 (80) ● 100 ● 120(125) ● 150 ● 175

3)外壁取り付け構法

方向	構法	使用箇所	備考
縦	● ロッキング構法		
横	● アンカー構法		

8-3 押出成形セメント板

外壁取付構法及び厚さ mm ●

方向	構法	使用箇所	備考
縦	● ロッキング構法		
横	● フライド構法		

8-4 PC板

1)床及び屋根 ● 床 ● 屋根

● PC板厚さ mm ●

● 合板

PC板厚さ mm	現場打厚さ mm	合計厚さ mm	備考

2)外壁厚さ mm ●

§9 令第129条の2の3の事項

建築物に設ける建築設備については、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

選択項目は●印を適用する。

■建築設備(昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、高気又は高圧のおそれのないものとする。

■屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。

□煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は、鉄製の支持を設けたものを除き、90cm以下とすること。

□煙突が屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は、厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、

■風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全支障のない構造とすること。

■建築物の部分を貫通して配管する場合には、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な衝撃防止のための措置を講ずること。

■管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な衝撃防止のための措置を講ずること。

■管を支持し、又は固定する場合には、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

■給湯設備*は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5)に規定する構造方法によること。

*給湯設備:建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水櫃等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの。

■建設20年第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2019年度版

1-1 基本事項

§ 1 一般事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
また本標準図に記載なき場合は構造特記仕様書 1-2-4 に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針 同解説」による。
3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、d は呼び名に用いた数値とする。
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

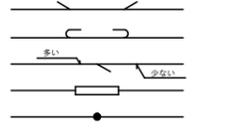
2-1 鉄筋の表示記号

§ 2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	記号													
	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41			
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41			
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46			

- フックのない場合
- フックのある場合
- 本数に差がある場合
- 機械式継手表示
- ガス圧接、溶接継手表示



2-2 鉄筋の折り曲げ

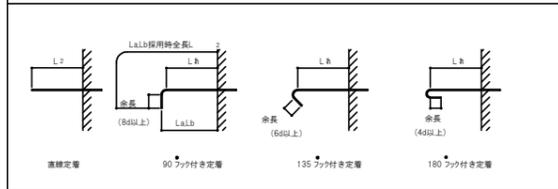
柱・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折り曲げ形状寸法

折り曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼び	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分		鉄筋の折り曲げ寸法(長さ)
				D16以下	D19以上	
180°		柱・基礎主筋	SD295	D16以下	3d以上	
		基礎主筋	SD345	D19~D41	4d以上	
		帯筋	SD390	D41以下	5d以上	
		スライダ筋		D25以下	5d以上	
		壁筋	SD490	D29~D41	6d以上	
135°		余長			6d以上	
90°		余長			8d以上	

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ「JASS5(2015)」に準拠

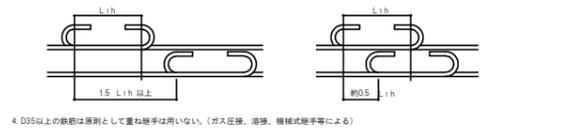
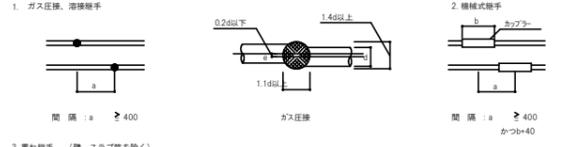
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	重ね継手の長さ		定着の長さ			
		一般		小径・深スラブ		下階筋	
		上階 直埋 L1	下階 フック付き Lh-1	上階筋	下階筋	上階筋	下階筋
SD295 SD345 (はSD345を示す)	18	45d(50d) 35d	40d 30d	15d (20d)			L≧20d L≧10d 深スラブの場合 L≧10d かつ 150以上
	21	40d(45d) 30d	35d 25d	15d (20d)			
	24~27	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d)	15d (20d)			
	30~36	35d 25d	30d 20d	15d			
SD390 (は適用外)	39~45	30d(35d) 20d(25d)	25d(30d) 15d(20d)	15d			
	48~60	30d 20d	25d 15d	15d			
	21	50d(-) 35d(-)	40d(-) 30d(-)	20d(-)			
	24~27	45d(55d) 35d(45d)	40d(45d) 30d(35d)	20d(25d)			
SD490 (は適用外)	30~36	40d(50d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d)	20d(25d)			
	39~45	40d(50d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d)	15d(20d)			
	48~60	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d)	15d(20d)			

一般定着の裏側、またはフック付きのL、Lh、Lbの図

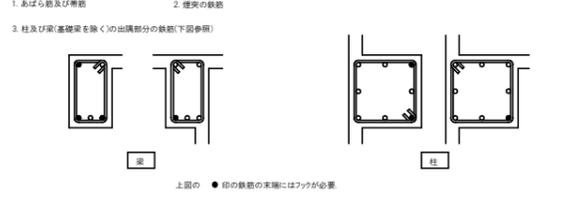


1. 重ね継手の長さは鉄筋の折り曲げ起点間の距離、又、フック付きのLは仕口から鉄筋の折り曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2. 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。
3. 構造特記仕様書2-2で政令第73条とした場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の重ね継手長さは上表、かつ40d(軽量コンクリートを使用する場合は50d)とする。
4. 構造特記仕様書2-2でJASS5(2018)、RC規準2018とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の重ね継手長さは設計者の指示による。参考値として上表JASS5(2015)にLを示す。

2-4 継手一般



4. D25以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。(ガス圧接、溶接、機械式継手等による)
5. 鉄筋継手を行う場合は原則として同一縦横とし、鉄筋径の差はガス圧接の場合は2サイズ、突き合せ溶接の場合は1サイズまでとする。
6. 突き合せ溶接継手及び機械式継手の場合はメカ仕様による。



2-5 鉄筋のフック

2-6 鉄筋のあき

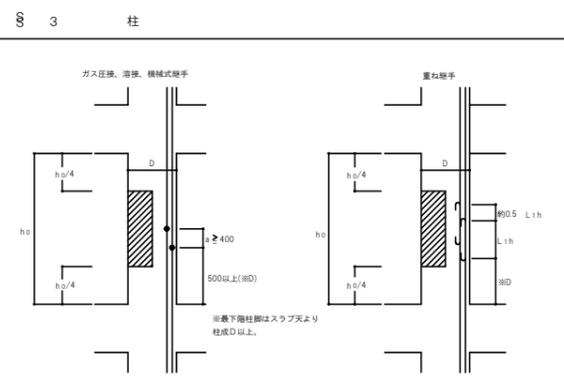


2-7 かぶり厚さ

部位	かぶり厚さ (mm)	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ	30 (20)
	床スラブ	30 (20)
	耐力壁	40 (30)
	柱	40 (30)
土に接する部分	柱・壁・床スラブ・壁・布基礎の立上り	50 (40)
	基礎・耐力壁	70 (50)

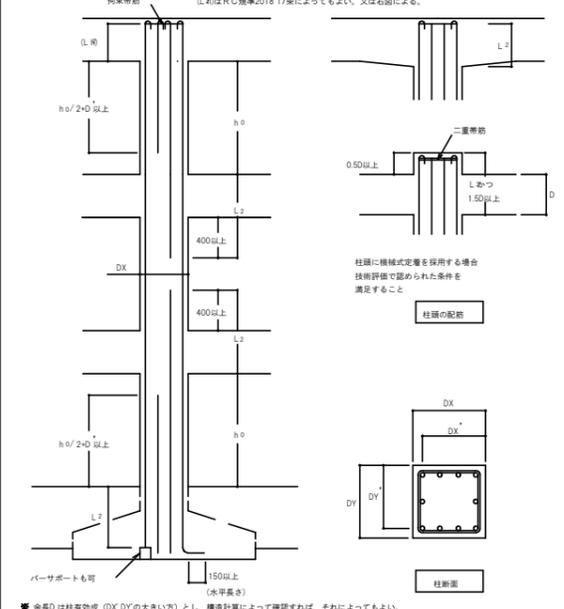
1. ()内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2. 仕上げありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
3. * 品質施工法に応じ、工事監督者の承認で10%の値とすることができ、かつ
4. * 軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
5. 柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。

3-1 主筋の継手



- 室内に継手中心部を設けることを原則とする。設計者判断により、設定を取付した工法ではa=0とできる。

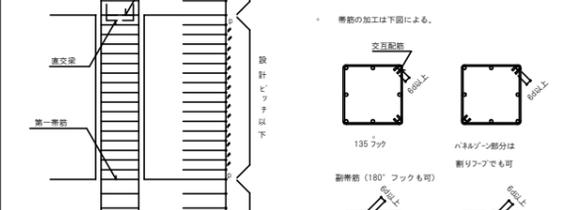
3-2 主筋の定着



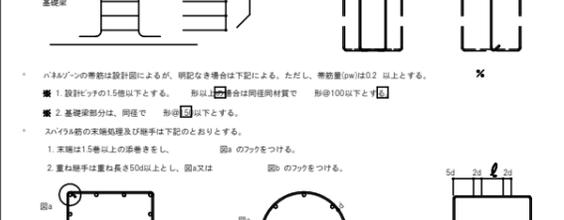
3-3 帯筋



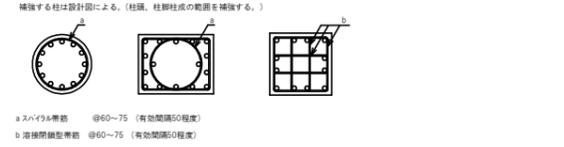
3-4 補助筋



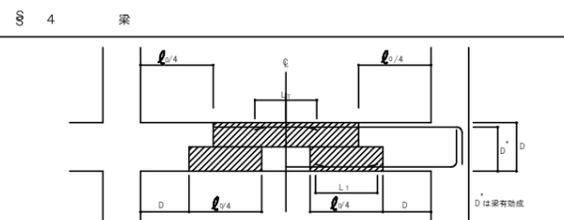
3-5 柱のコンファイド補強



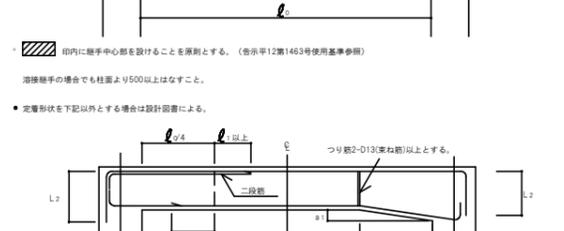
4-1 主筋の継手及び余長



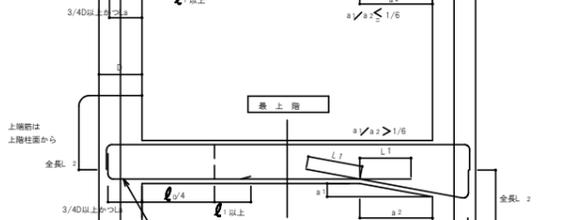
4-2 主筋の定着及び余長



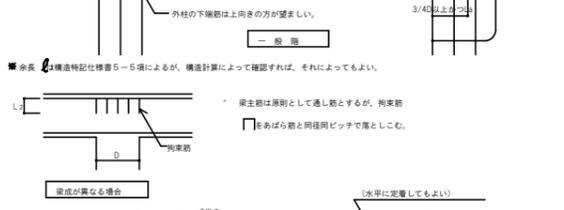
4-3 外柱



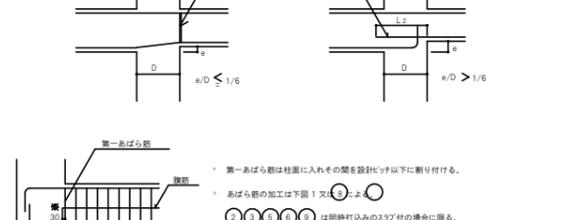
4-4 中柱



4-5 あばら筋

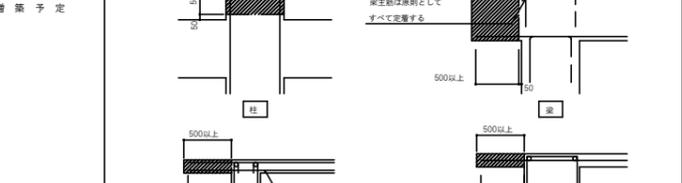
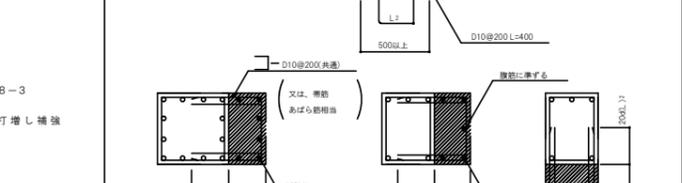
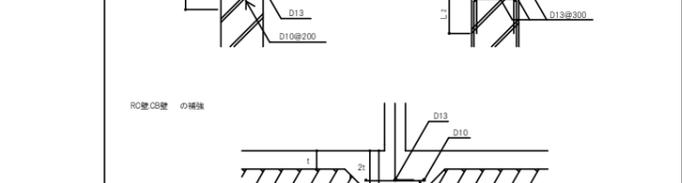
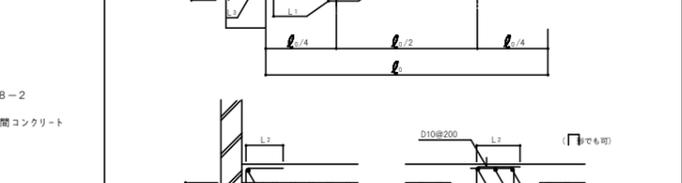
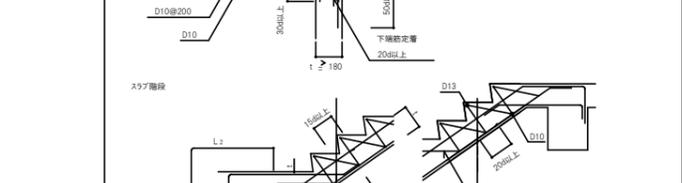
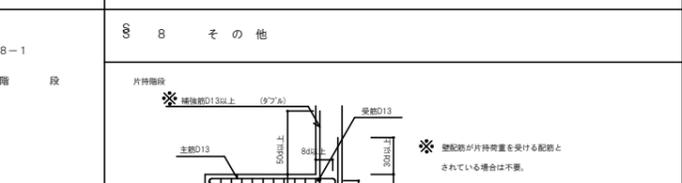
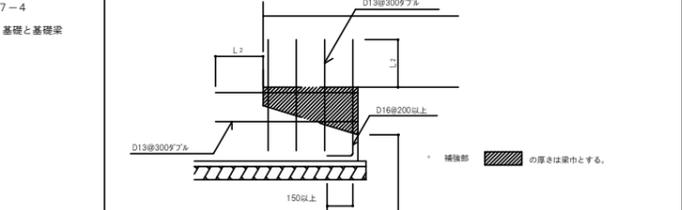
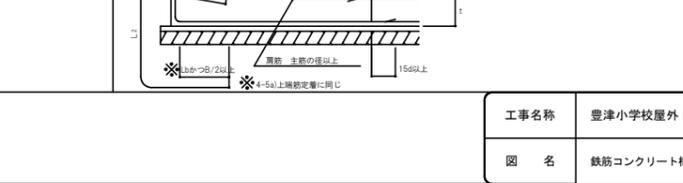
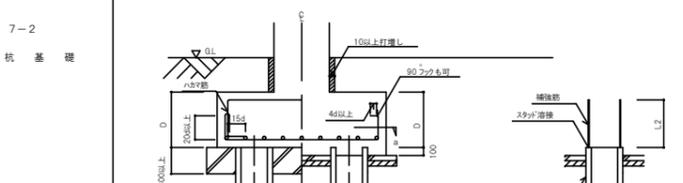
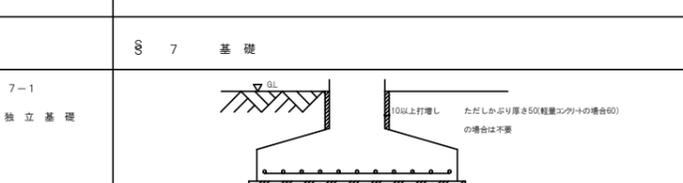
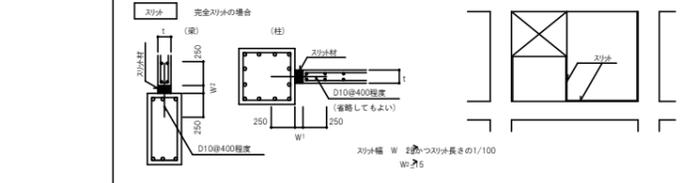
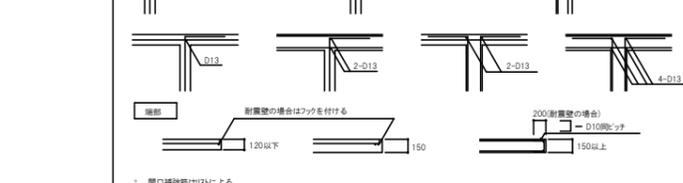
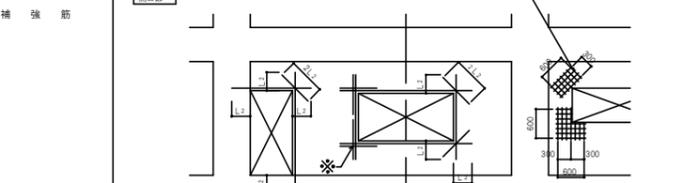
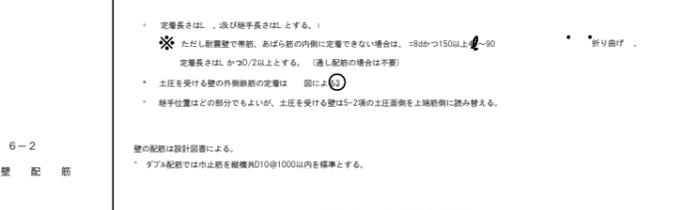
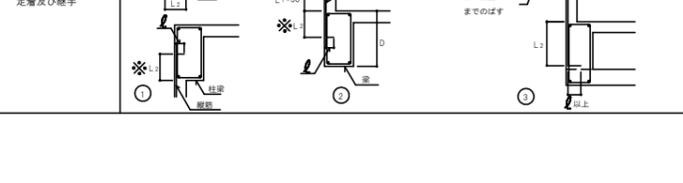
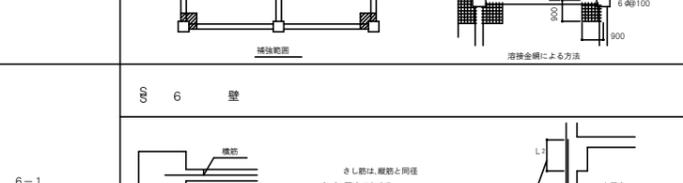
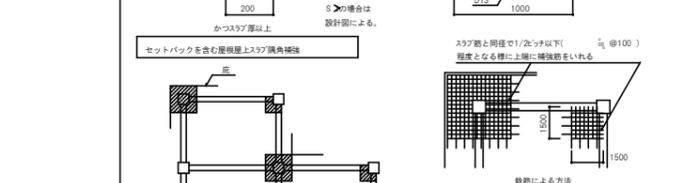
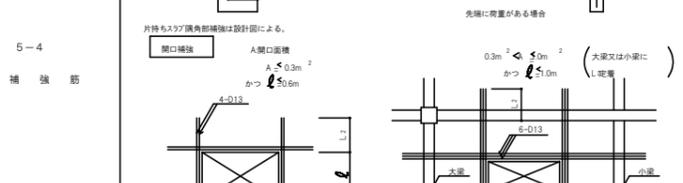
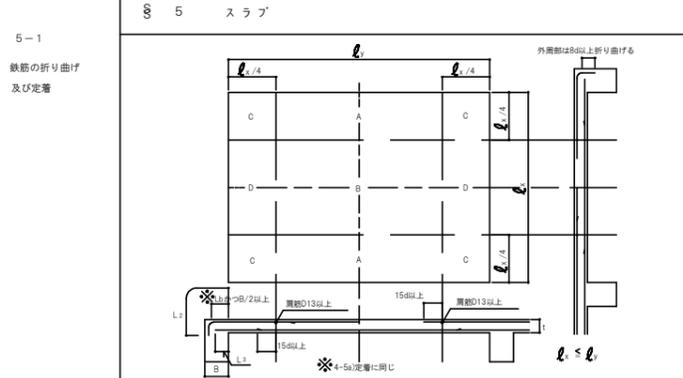
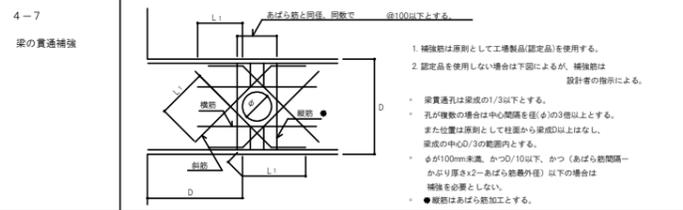
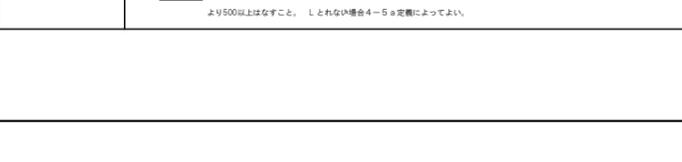
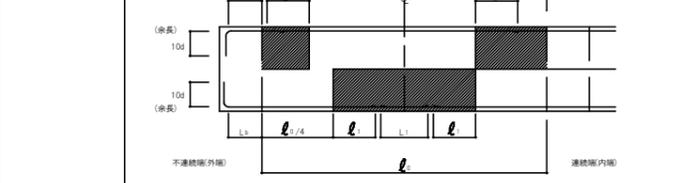
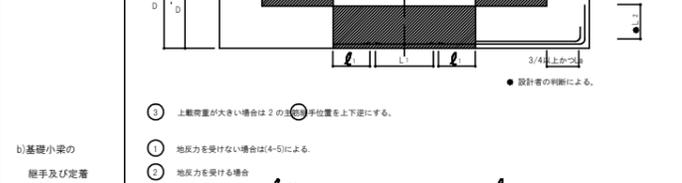
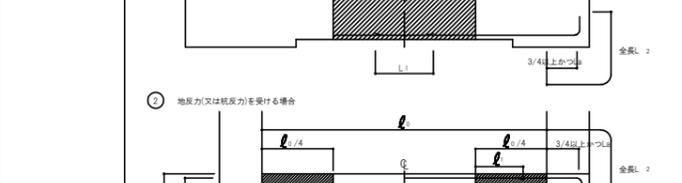
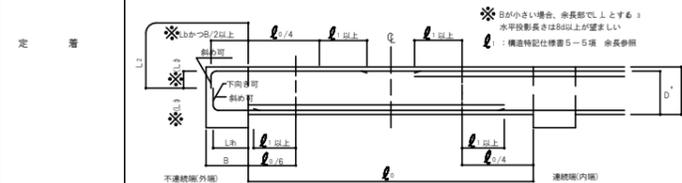
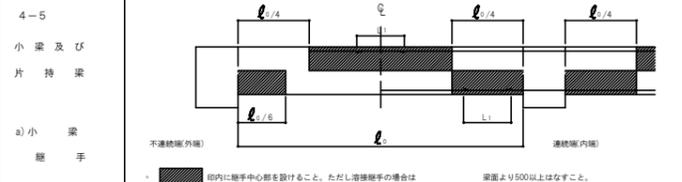
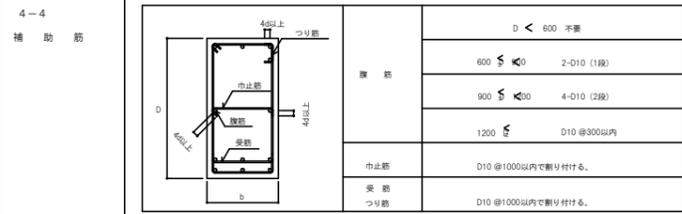


4-6 副あばら筋

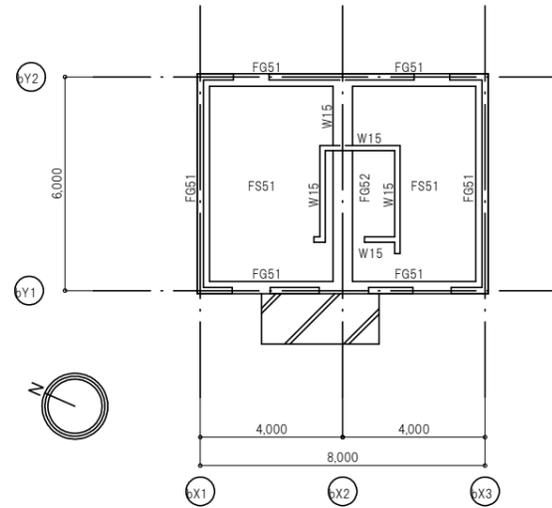


1. 第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ヒッチ以下に割り付ける。
2. あばら筋の加工は下図1又は2による。
3. ①②③④は同時打込みのスラブの場合に履る。
4. ⑤⑥は梁成の大きい場合。
5. ⑦はヒッチで交互配置とする。
6. ⑧⑨は135°フックでも可とする。
7. 溶接継手は帯筋の項を参照のこと。

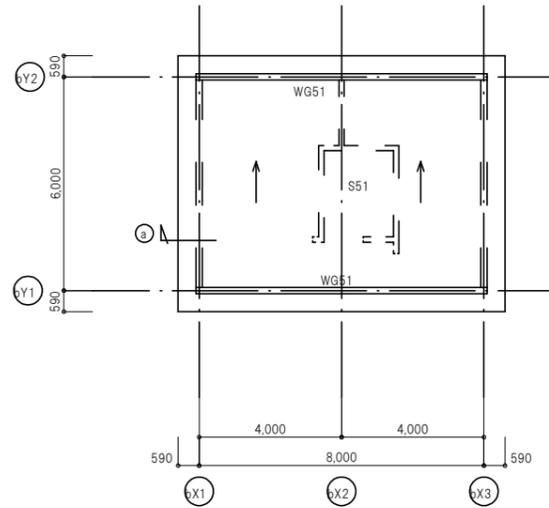
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2019年度版



工事名称	豊津小学校屋外トイレ新設工事	図番	S/03	日付		監査部長		担当		製図	
図名	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	縮尺		意	・	・	・	・	・	・	・



1階床梁伏図 1/100



屋根伏図 1/100

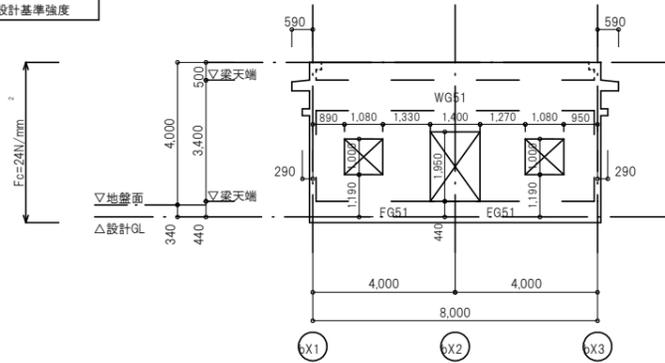
特記なき限り下記による

1	壁符号は、W18とする。
2	梁天端レベルは、設計GL+440とする。
3	スラブ天端レベルは、設計GL+440とする。
4	スラブ下は、浅層混合処理による地盤改良を実施すること。
5	印は、土間コンクリート範囲を示す。 天端レベルは、設計GL+340とする。

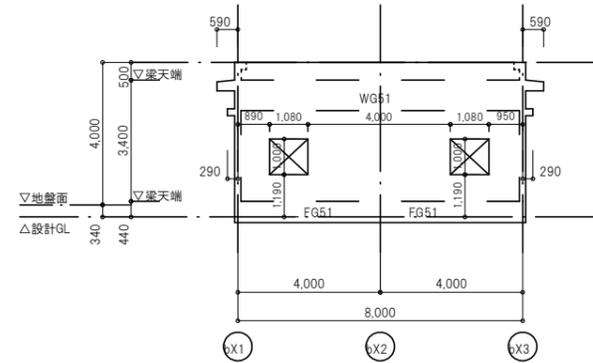
特記なき限り下記による

1	梁天端レベルは、軸組図による。
2	スラブ天端レベルは、水勾配による。
3	→印は、水勾配を示す。

コンクリート
設計基準強度

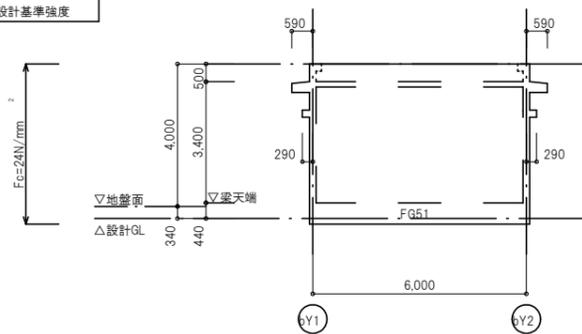


bY1通り軸組図 1/100

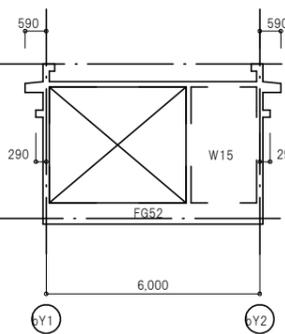


bY2通り軸組図 1/100

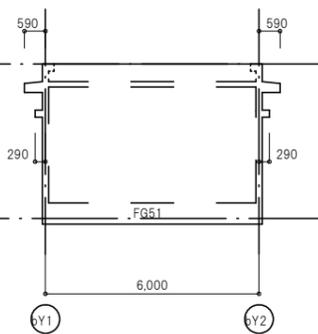
コンクリート
設計基準強度



bX1通り軸組図 1/100



bX2通り軸組図 1/100



bX3通り軸組図 1/100

特記なき限り下記による

1	壁符号は、W18とする。
---	--------------

基礎梁リスト 1/50

- 特記なき限り下記による
- 鉄筋材質 D16以下 : SD295A
D19 : SD345
 - 幅止筋は、D10@1,000以内とする。

符号	FG51	FG52
位置	全断面	全断面
断面		
B x D	350x600	550x600
上端筋	3-D19	5-D19
下端筋	3-D19	8-D19
スターラップ	□-D10@200	□-D13@200
腹筋	2-D13	2-D13

壁梁リスト 1/50

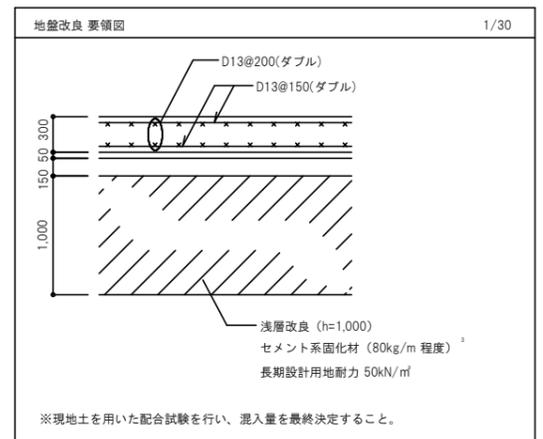
- 特記なき限り下記による
- 鉄筋材質 D16以下 : SD295A
 - 幅止筋は、D10@1,000以内とする。

符号	WG51
位置	全断面
断面	
B x D	180x850
上端筋	2-D16
下端筋	2-D16
スターラップ	□-D10@200
腹筋	4-D10

壁リスト 1/50

- 特記なき限り下記による
- 幅止筋は、D10@1,000以内とする。
 - 断面図は、垂直断面を示す。

符号	W15	W18	開口部補強要領
壁厚	150	180	
断面			
縦筋	D10@200(ナ)	D10@200(ダブル)	a (ヨコ補強筋) b (タテ補強筋)
横筋	D10@200(ナ)	D10@200(ダブル)	c (斜め補強筋)
開口部補強筋	縦 2-D13 横 2-D13 斜 1-D13	縦 2-D13 横 2-D13 斜 1-D13	開口部が柱梁に接する部分は補強を要しない
備考			

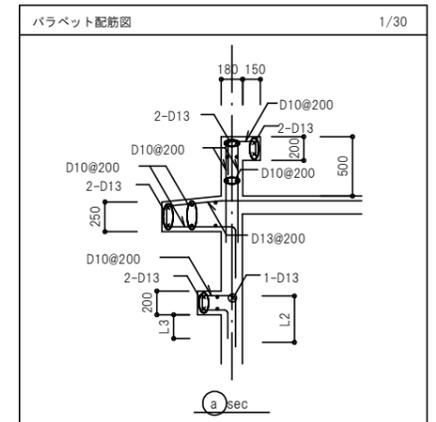
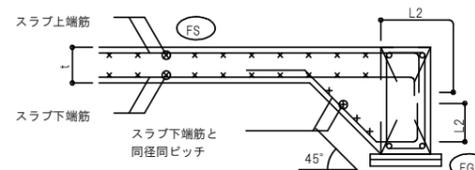


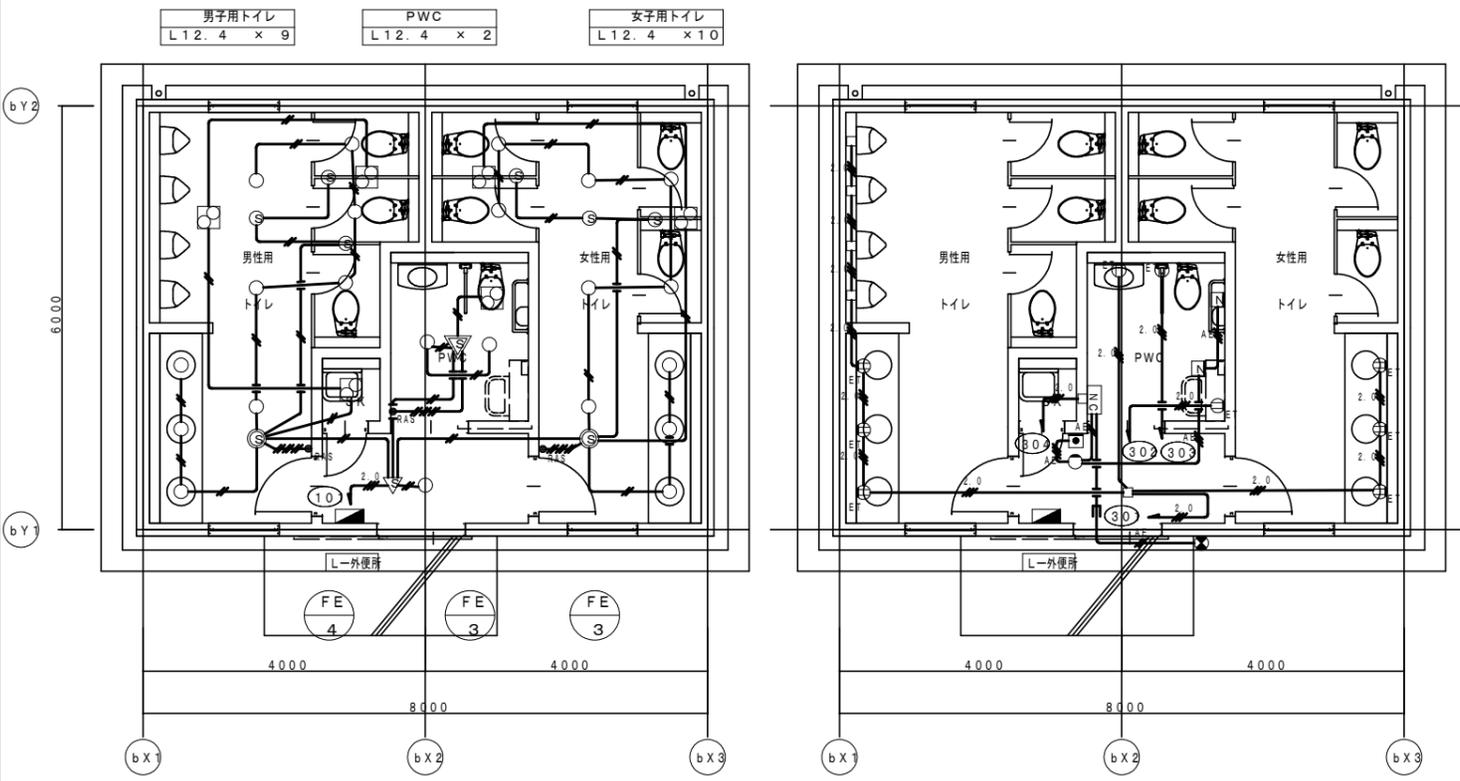
スラブリスト

- 特記なき限り下記による
- 土に接するスラブ下には、地業(捨てコンクリート:t=50,砕石:t=150)を施すこと。

符号	版厚	位置	短辺方向	長辺方向	備考
S51	150	上端筋	D10,D13@200	D10@200	
		下端筋	D10@200	D10@200	
FS51	300	上端筋	D13@150	D13@200	
		下端筋	D13@150	D13@200	

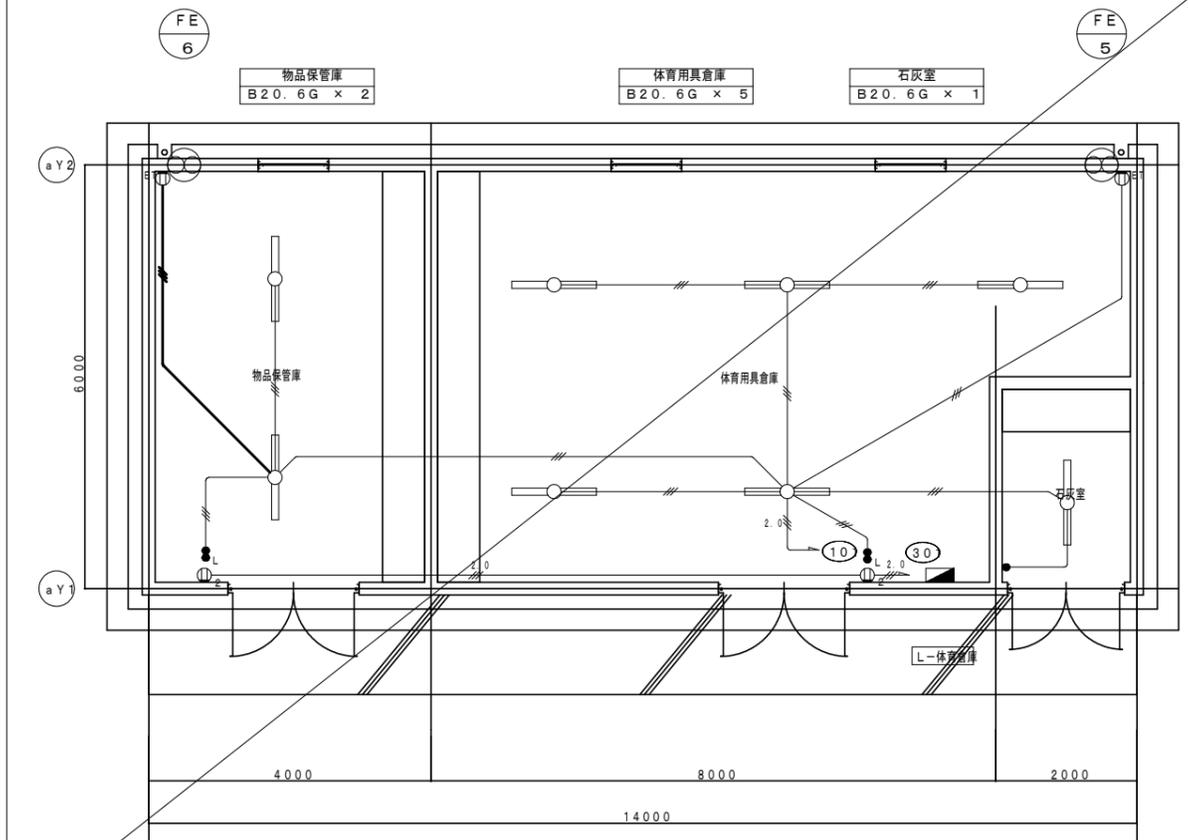
ベタ基礎配筋要領図 1/30



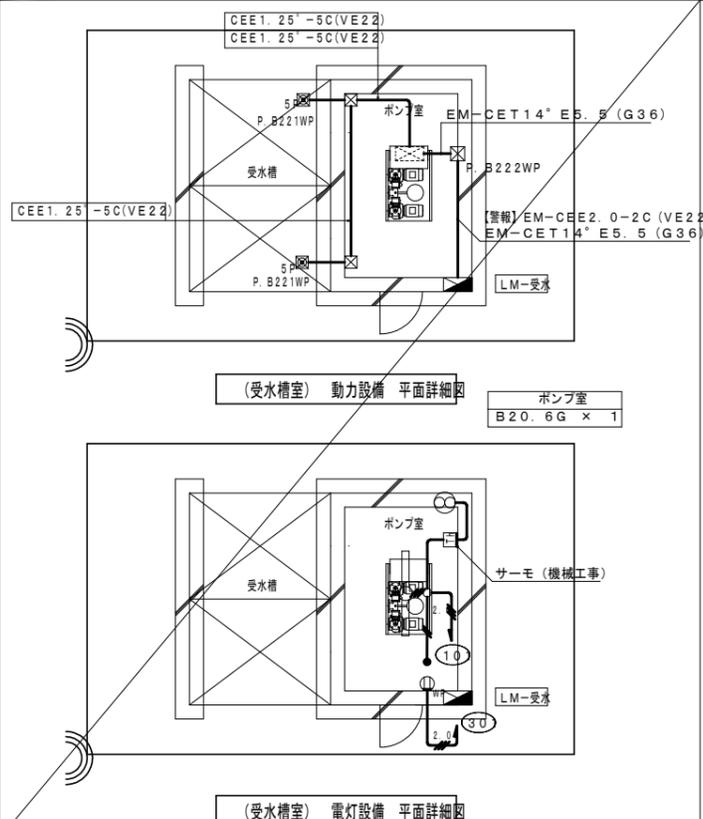


(屋外トイレ) 電灯設備 平面詳細図

(屋外トイレ) 弱電設備 平面詳細図

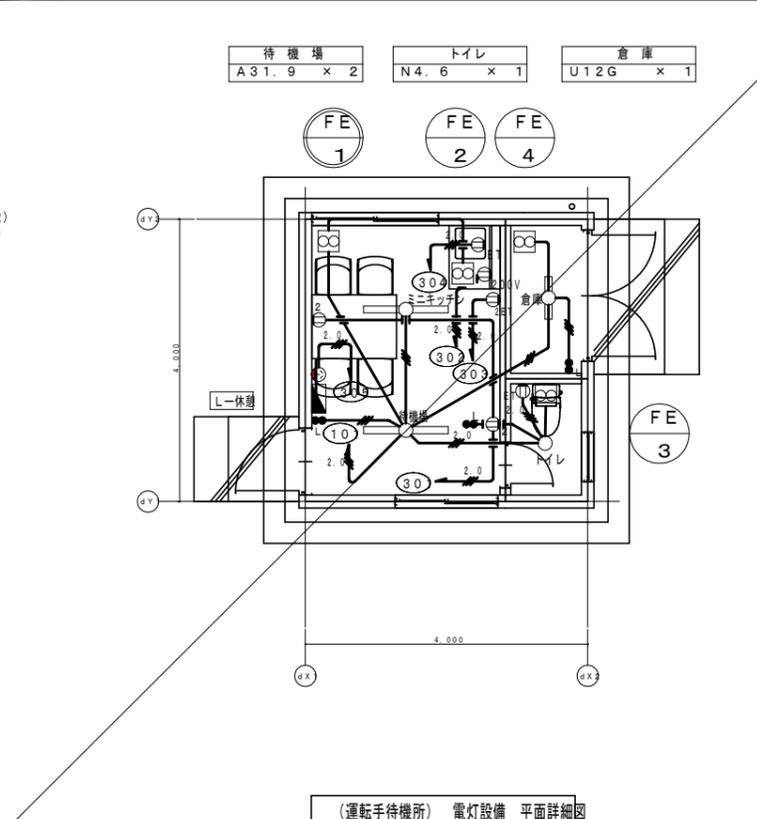


(体育用具倉庫) 電灯設備 平面詳細図



(受水槽室) 動力設備 平面詳細図

(受水槽室) 電灯設備 平面詳細図



(運転手待機所) 電灯設備 平面詳細図

凡例	記号	名称	備考	注記
■	●	電灯分電盤	分電盤結線図参照	1. 特記なき配管配線は下記とする。
■	●	電灯動力分電盤	分電盤結線図参照	EM-EEF1. 6-2C (天井ふところ内)
○	○	照明器具	照明器具表参照	EM-EEF1. 6-3C (天井ふところ内)
○	○	照明器具	照明器具表参照	EM-EEF1. 6-2C (PF16)
○	○	照明器具	照明器具表参照	EM-EEF1. 6-3C (PF22)
●	●	埋込スイッチ	1P15A×1 金属, P	EM-EEF2. 0-2C (天井ふところ内)
●	●	埋込スイッチ	PL×1 金属, P	EM-EEF2. 0-3C (天井ふところ内)
●	●	センサースイッチ	自動, 手動, 切	EM-EEF2. 0-2C (PF16)
○	○	埋込コンセント	2P15A×2 金属, P	EM-EEF2. 0-3C (PF22)
○	○	埋込コンセント (エアコン用)	2P15/20A+E×1 金属, P	EM-AE0. 9-2C (天井ふところ内)
○	○	埋込コンセント	2P15A×1, ET付 金属, P	EM-AE0. 9-3C (天井ふところ内)
○	○	埋込コンセント	2P15A×2, ET付 金属, P	EM-AE0. 9-2C (PF16)
○	○	埋込コンセント (200V用)	2P15A・20A兼用×1, E種, ET兼用, P	EM-AE0. 9-3C (PF16)
5P	5P	電極	極数は傍記	
⊗	⊗	換気扇又は天井扇	機械設備工事	
□	□	プルボックス	サイズは注記参照	2. ケーブル配線に於いて、壁引下げ部は配管 (PF管) 保護とする。
○	○	丸型露出ボックス	サイズは注記参照	
NC	NC	トイレ呼出表示器 (1室)		3. EEFケーブルに於ける配管サイズは下記とする。
■	■	トイレ呼出ボタン (ひも付き)		EEFケーブル1条 ... PF16
■	■	復旧ボタン		EEFケーブル2条 ... PF22
○	○	プザ付表示灯		
○	○	回転灯		
▽	▽	人感センサー (換気扇連動)		4. カバープレート及びBOX類には全て用途及び回線番号を明記する。
⊗	⊗	人感センサー照機 (換気扇連動)		
⊗	⊗	人感センサー子機		5. 特記なきプルボックスサイズは下記とする。
				⊗P: B221WP 200×200×100 (SUS-WPメラミン焼付塗装)

14 受設備 給排水 衛生設備 管類	※加圧給水ポンプ（住宅物件）の仕様については、加圧給水ポンプユニット仕様書（国土交通省仕様）による。		18 建設副産物の処理について
	※浄化槽仕様書による。		
16 管類 空調設備 給排水 衛生設備 管類	施工箇所	保温種別	区別
	屋内露出	1.グラスウール 2.鉄線 3.合成樹脂カバー	給排水 給排水 給排水 給排水
	機械室・倉庫	1.グラスウール 2.鉄線 3.アルミガラスクロス	給排水 給排水 給排水 給排水
	天井内・PS内・空隙壁中	1.アルミガラスクロス化粧材 グラスウール化粧材	給排水 給排水 給排水 給排水
	床下・暗渠内	1.ポリエチレン フォーム	給排水 給排水 給排水 給排水
	床下・暗渠内・コナート内	1.グラスウール 2.鉄線 3.ポリエチレン フィルム	給排水 給排水 給排水 給排水
	屋外露出・多湿箇所	1.グラスウール 2.鉄線 3.ポリエチレン フィルム	給排水 給排水 給排水 給排水
	屋外露出・多湿箇所	1.ポリスチレン フォーム	給排水 給排水 給排水 給排水
	黒管塗装	1. 錆止めペイント (2層) 2. エッチング プライマー (1層)	給排水 給排水 給排水 給排水
	白管塗装	1. エッチング プライマー (1層)	給排水 給排水 給排水 給排水
一般 風道	施工箇所	保温種別	区別
	屋内露出	1.グラスウール 2.鉄線 3.ポリエチレン フィルム	給排水 給排水 給排水 給排水
	屋内露出	1.ポリスチレン フォーム	給排水 給排水 給排水 給排水
	屋内露出	1. 換気筒の断熱材 2. 保溫化粧ケース	給排水 給排水 給排水 給排水
	機械室・倉庫	1.グラスウール 2.鉄線 3.ポリエチレン フィルム	給排水 給排水 給排水 給排水
	機械室・倉庫	1.ポリスチレン フォーム	給排水 給排水 給排水 給排水
	天井内・PS内・空隙壁中	1.アルミガラスクロス化粧材 グラスウール化粧材	給排水 給排水 給排水 給排水
	天井内・PS内・空隙壁中	1.グラスウール 2.鉄線 3.ポリエチレン フィルム	給排水 給排水 給排水 給排水
	天井内・PS内・空隙壁中	1.ポリスチレン フォーム	給排水 給排水 給排水 給排水
	床下・暗渠内・コナート内	1.グラスウール 2.鉄線 3.ポリエチレン フィルム	給排水 給排水 給排水 給排水
床下・暗渠内・コナート内	1.ポリスチレン フォーム	給排水 給排水 給排水 給排水	
屋外露出・多湿箇所	1.グラスウール 2.鉄線 3.ポリエチレン フィルム	給排水 給排水 給排水 給排水	
屋外露出・多湿箇所	1.ポリスチレン フォーム	給排水 給排水 給排水 給排水	
屋外露出・多湿箇所	1. 換気筒の断熱材 2. 保溫化粧ケース	給排水 給排水 給排水 給排水	
17 住宅 保温 仕 管類	区別	保温種別	区別
	矩形風道	1. 断熱材 2. アルミガラス クロス化粧 材 3. アルミガラス クロス化粧 テープ	給排水 給排水 給排水 給排水
	円形風道 (スパイラルダクト)	1. アルミガラス クロス化粧 材 2. アルミガラス クロス化粧 テープ	給排水 給排水 給排水 給排水
	区別	保温種別	区別
	矩形	1. 断熱材 2. アルミガラス クロス化粧 材 3. アルミガラス クロス化粧 テープ	給排水 給排水 給排水 給排水
	円形	1. アルミガラス クロス化粧 材 2. アルミガラス クロス化粧 テープ	給排水 給排水 給排水 給排水
	区別	保温種別	区別
	矩形	1. 断熱材 2. アルミガラス クロス化粧 材 3. アルミガラス クロス化粧 テープ	給排水 給排水 給排水 給排水
	円形	1. アルミガラス クロス化粧 材 2. アルミガラス クロス化粧 テープ	給排水 給排水 給排水 給排水
	区別	保温種別	区別
矩形	1. 断熱材 2. アルミガラス クロス化粧 材 3. アルミガラス クロス化粧 テープ	給排水 給排水 給排水 給排水	
円形	1. アルミガラス クロス化粧 材 2. アルミガラス クロス化粧 テープ	給排水 給排水 給排水 給排水	
※ 断熱材は、保温板の施工が困難な箇所は、ロックウールを使用してもよい。 ※ ストリーナー・弁の保温は、屋内屋外ともビスなどにより容易に着脱できる構造とする。 ※ 防火区画を貫通する管の保温は、その貫通する部分をロックウール保温材とする。 ※ 蒸気管、温水管の保温は、ポリエチレンフィルムを除く。 ※ スパイラルダクト（フランジ部を除く。）の保温は、グラスウール保温板32K使用してもよい。 ※ O Aダクトが室内空間を結ぶ場合は保温すること。 ※ 全熱交換器の一次側O A、E Aダクトは保温工事を実施すること。 ※ ドレン管の保温は、排水管の項による。			
※ 硬質塩化ビニル管及び鋼鉄管のコンクリート、地中埋設部は防食施工しない。 ※ サニタリーバンド及び通気管の屋内露出部分は塗装する。 ※ 屋内露出（便所）の通気管は塗装する。 ※ コンクリート貫通部分には、防食処理を行う。 ※ 間仕切壁（PL板除く）貫通の場合は両側にプラスチックプレート取付のこと。 ※ 支持金物仕様PS内（鋼製）、屋外（SUS製）、その他（樹脂製）とする。 ※ さや管ヘッダー工法におけるヘッダー管は保温を行うこと。			

資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。

現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品ごとに分別保管場所を設置し、集積すること。

また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。

工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
・がれき類（コンクリート塊）（アスファルト塊）	・廃プラスチック
・木くず	・ガラス、陶磁器くず
・汚泥	・廃石こうボード
	・金属くず
	・繊維くず

特別管理産業廃棄物

- ・廃石綿等
- 「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境庁大気保全局）」に従い、収集、運搬、処分を行う。
- ・廃PCB等
- 「電気事業法：電気関係報告規制」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・提出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※参考受入場所は現場説明書による

建設副産物の処理内容		備考
処理内容		
現場内における分別		
現場内分別保管場所の設置		
現場内分別保管場所までの運搬		
分別保管場所からの積込み・運搬・処分		
「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要	
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要	
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要	
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要	

19 フロン処理について

「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に従い処理すること。

発注者（施設管理者）
工事請負業者
第1種フロン類充てん回収業者
フロン類回収・運搬業者
フロン類回収・運搬業者

※ 工事請負業者は、第1種フロン類充てん回収業者にフロン回収処理を依頼し、回収後、引取証明書及び第1種フロン類充てん回収業者登録簿のコピーの発行を受け、竣工図書に添付すること。

※ 家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に該当する機器（ルームエアコン等）については、適切に処理し、管理票（家電リサイクル券）を竣工図書に添付すること。

20 中水道配管設備

1 水源
2 配管材料
3 誤接続の防止対策

4 試験

図1-1 配管埋設参考 埋設深さ H
1 300以上
2 600以上
3 以上

図1-2 水槽埋設参考

図2 井 井

図3-1 ドロップ井参考図
(※副管サイズは主管サイズより1サイズ下でも可。)

図3-2 小口径樹取付要領図

工事名称 豊津小学校屋外トイレ新設工事
図名 機械設備 特記仕様書(2)

図4 異種金属接続部
異種金属接続部は、屋外埋設配管を除き電食防止のため、異種金属接続用絶縁継手を使用すること。使用箇所を下記に示す。

1. 砲金製バルブと塩ビライニング鋼管接続部（コア入りバルブは除く。）
2. 衛生器具（水栓類、便器、洗面器等）接続管と塩ビライニング鋼管接続部
3. マイクロエアバンド及びエアセパレーターと塩ビライニング鋼管接続部
絶縁エルボ又は絶縁オスメソケットを使用すること。
4. 水道メーター（砲金）、伸縮弁（砲金）、伸縮メーターユニオン（砲金）と塩ビライニング鋼管接続部
5. 水抜きテスト弁と塩ビライニング鋼管接続部
6. 上記以外の異種金属接続部

図5 防火区画等貫通部措置
給水管、排水管及び通気管等が防火区画等を貫通する場合の措置は、建築基準法施行令第129条の2の5第1項第7号に規定されており、次のいずれかに該当すること。

1. 防火区画等の貫通部分及び両側1m以内を不燃材料で造ること。（右参考図参照）
2. 平成12年建設省告示第1422号に適合すること。（下表）（難燃材料又は硬質塩化ビニル管(VP)を用いる場合)

用途	覆いの有無	肉厚	給水管等の外径		
			防火構造 30分	耐火構造 1時間	耐火構造 2時間
給水管	無し	5.5mm以上	90mm	90mm	90mm
		6.0mm以上	115mm(100)	115mm	115mm
排水管及び排水管に付属する通気管	無し	4.1mm以上	61mm(50)	61mm	61mm
		5.5mm以上	90mm(75)	90mm	90mm
厚さ0.5mm以上の鉄板	有	6.0mm以上	115mm(100)	90mm	61mm
		6.0mm以上	90mm(75)	90mm	61mm
の覆い有	有	7.0mm以上	115mm(100)	90mm	90mm
		7.0mm以上	141mm(125)	115mm	90mm

※表中の（ ）内は適合可能な硬質塩化ビニル管(JIS K 6741のVP管を除く)の呼び径寸法を示す。
※呼称寸法未満の給水管等については、JISに適合した硬質塩化ビニル管であれば、表中の肉厚に満たなくても同一の性能を有しているものとして取り扱う。

3. 国土交通大臣の認定を受けたものであること。

例1) 硬質塩化ビニル管(RF-VP)に防火区画貫通用テープを用いる場合(右参考図参照)

例2) 耐火二層管を認定条件に従って施工する場合(立管はすべて耐火二層管とし、横管は立管の分岐から1mまでを耐火二層管とし、その延長部分を硬質塩化ビニル管とした場合など)

表1 厨界排気ダクトの板厚
厨界排気ダクト（矩形ダクトに限る）の板厚については、以下による
[単位: mm]

ダクトの長辺	板厚	
	亜鉛鉄板	ステンレス鋼板
450以下	0.6以上	0.5以上
450を超え1,200以下	0.8以上	0.6以上
1,200を超え1,800以下	1.0以上	0.8以上
1,800を超えるもの	1.2以上	

H 29-4

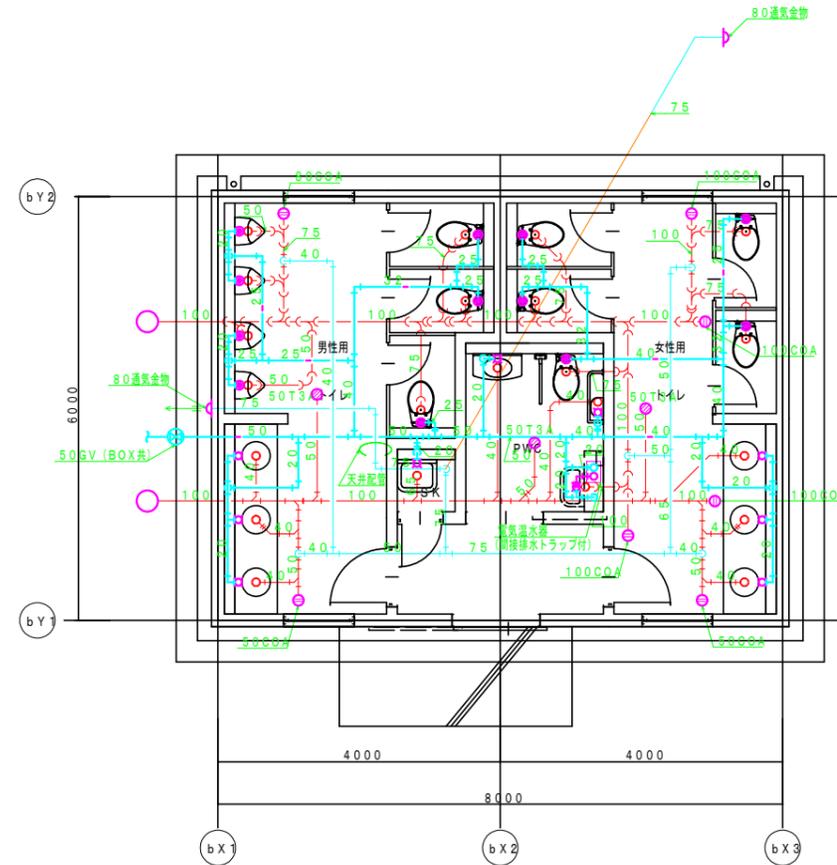
衛生器具表

品名	付属品 (TOTO参考品番)	数量	備考
洋風大便器	CFS494NHNA, TC291J, HP4307, YH702 フラッシュバルブ式、普通便座、フランジ、棚付2連紙巻器	7	男性用トイレ 女性用トイレ
洋風大便器	CFS494NHNA, TCF5523PR, TH343R, HP4307, YH702 フラッシュバルブ式、ウォシュレット、接続金具、フランジ、棚付2連紙巻器	1	PWC
壁掛小便器	UFS900JS 低リップ、自動洗浄	4	男性用トイレ
洗面器 (カウンター：建築工事)	L582CS, TENA41A, T7PW1, TL516GR 自動水栓、排水金具、ブラケット	6	男性用トイレ 女性用トイレ
洗面器	L270CM, TEN77G1, T7PW1, TL220D 自動水栓、排水金具、バックハンガー	1	PWC
埋込手洗器	LSE570APR 自動水栓	1	PWC
コンパクトオストメイトパック	UAS81RDB2, UTR141 ロータンク、タッチスイッチ式、シングルレバーアウト水栓、電気温水器、水石けん入れ、紙巻器、前板、甲板、幅木、設置フレーム、側板	1	PWC
掃除用流し	SK22A, TK22, T23AEQ20C, TN114, T9R, T37SGEP リムカバー、横水栓、止水栓、バックハンガー、排水金具	1	前室
化粧鏡	YM4560A 非耐食、450x600	6	男性用トイレ 女性用トイレ

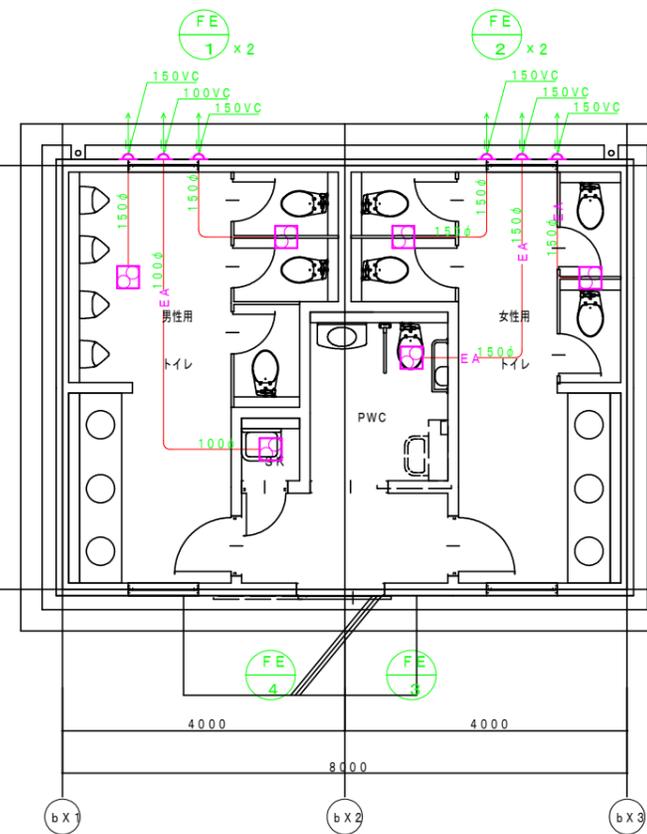
※カウンター、手すり等は建築工事とする。

機器表

記号	機器名	仕様	電気容量			台数	設置場所	備考
			φ	V	kW			
FE 1	排気ファン	型式：天井埋込型換気扇 プラスチックグリル 150φ × 260m ² h × 60Pa	1	100	49.0W	2	男性用トイレ	三菱電機：VD-20ZC10相当
FE 2	排気ファン	型式：天井埋込型換気扇 プラスチックグリル 150φ × 240m ² h × 40Pa	1	100	49.0W	2	女性用トイレ	三菱電機：VD-20ZC10相当
FE 3	排気ファン	型式：天井埋込型換気扇 プラスチックグリル 150φ × 140m ² h × 40Pa	1	100	23.5W	1	PWC	三菱電機：VD-17ZSC10相当
FE 4	排気ファン	型式：天井埋込型換気扇 プラスチックグリル 100φ × 20m ² h × 40Pa	1	100	9.3W	1	SK	三菱電機：VD-10ZC10相当
FE 5	排気ファン	型式：有圧換気扇 低騒音形 30cm × 870m ² h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー（防鳥網付）、風圧式シャッター、バックガード 取付枠、その他付属品一式	1	100	50.0W	1	体育用具倉庫	三菱電機：EWF-30BSA相当
FE 6	排気ファン	型式：有圧換気扇 低騒音形 25cm × 390m ² h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー（防鳥網付）、風圧式シャッター、バックガード 取付枠、その他付属品一式	1	100	25.0W	1	物品保管庫	三菱電機：EWF-25ASA相当



(屋外トイレ) 衛生設備 平面詳細図



(屋外トイレ) 換気設備 平面詳細図